

キャリア教育推進に関する調査研究 (中間報告)

今日的課題であるキャリア教育について、その先進的な取組、事例の研究を通して、キャリア教育の在り方と推進のための方策を研究する。本年度は小学校から高等学校までの連携を視点に作成した学習プログラム枠を紹介するとともに、キャリア教育に対する教員の意識に関する調査結果を基に、「児童生徒の勤労観、職業観を育てる教育」の在り方について中間報告する。

<検索用キーワード> キャリア教育 勤労観 職業観 職場体験 インターンシップ
学習プログラム 意識調査 実践事例

研究会委員

西尾市立西尾小学校教諭	土橋 直美(平成18年度)
三好町立三吉小学校教諭	黒田 和秀(平成18年度)
豊橋市立旭小学校教諭	川本 貴博(平成18年度)
瀬戸市立祖東中学校教諭	此下 明雄(平成18年度)
東海市立横須賀中学校教諭	廣田 雅明(平成17,18年度)
田原市立福江中学校教諭	山田 淑和(平成17,18年度)
県立津島北高等学校教諭	白山 素子(平成17,18年度)
県立鶴城丘高等学校教諭	川原 英範(平成17,18年度)
県立蒲郡高等学校教諭	石原 敦仁(平成17,18年度)
総合教育センター教科研究室長(現県立守山高等学校教頭)	小久保清隆(平成17年度)
総合教育センター研究指導主事	吉原 文子(平成17,18年度)
総合教育センター研究指導主事	川澄 誠(平成18年度)
総合教育センター研究指導主事	都築 数雄(平成17,18年度主務者)

1 はじめに

児童生徒の勤労観、職業観の形成をめぐる様々な論議がなされる今日、フリーターやニートに象徴される若者の精神的、社会的自立の遅れや就業意識の低下の原因を探り、キャリア教育を通して児童生徒の勤労観、職業観の育成、ひいては児童生徒の「生きる力」の育成を図ることが学校教育に求められている。

キャリア教育は、各学校で取り組むべき新たな活動を提案しようとするものではない。むしろ各学校で既に実施している教育活動全体をキャリア教育の観点で見直し、それぞれの教育活動がもつ意味を確認し、活動を有機的に関連付けて、より効果的なものにしていくことが大切である。

本研究は、平成17年度より、小・中・高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する研究に取り組み、今日的課題であるキャリア教育について、導入の経緯と意義、先進的な取組事例の研究及び県

内の小・中・高等学校の教員のキャリア教育に関する意識調査等に取り組んできた。これらの調査研究を基に、キャリア教育の在り方と推進のための方策を提案し、各学校での実践上の参考となるものにしたいと考えている。

2 研究の目的

本研究は、キャリア教育の意義、児童生徒の実態に即したキャリア教育学習プログラムの具体例の開発及び授業実践を通して、キャリア教育の在り方について検証し、その研究成果を積極的に発信することにより、キャリア教育についての教員の意識改革と資質の向上を図るとともに、各学校における取組の振興・充実を図ることをねらいとしている。

3 研究の方法

- (1) キャリア教育にかかわる諸答申や通知、「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」(平成16年1月文部科学省)などの資料及び文献を参考にして、小・中・高等学校におけるキャリア教育の在り方を研究する。
- (2) 小・中・高等学校におけるキャリア教育の実施状況及びキャリア教育に対する教員の意識を把握し、小・中・高等学校の連携に視点を置いた学習プログラムを作成する。
- (3) 作成した学習プログラムを基に、研究協力委員が所属する学校で授業実践を行い、指導と評価の在り方について検証する。

4 研究の内容

(1) キャリア教育の推進に向けて

「キャリア教育」の文言が、文部科学行政関連の審議会報告等で初めて登場したのは、「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」(平成11年12月中央教育審議会答申)であり、小学校段階から発達段階に応じてキャリア教育を実施する必要があると提言された。この答申に続く「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について(調査研究報告書)」(平成14年11月国立教育政策研究所生徒指導研究センター)及び「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」(平成16年1月文部科学省)におけるキャリア教育推進に関する提言を整理し、キャリア教育導入の経緯、「勤労観、職業観」の定義、キャリア教育導入の意義等について、「キャリア教育の推進に向けて」(p.4からp.6)にまとめた。

(2) キャリア教育に関するアンケート

愛知県における市町村立小学校、中学校及び県立高等学校の教員のキャリア教育に対する意識と各学校における取組の現状を調査して、今後の「キャリア教育推進に関する調査研究」の基礎的な資料を作成する目的でアンケートを実施した。アンケートの実施概要及び結果概要については、「キャリア教育に関するアンケート」(p.7からp.19)にまとめた。

(3) 学習プログラム枠の開発

「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について(調査研究報告書)」(平成14年11月国立教育政策研究所生徒指導研究センター)の「職業観・勤労観を育むための学習プログラムの枠組み(例)」において、小・中・高等学校の各段階で育成すべき具体的な能力・態度が示された。本研究では、これらの能力・態度の育成を目指す学習プログラムの開発に当たり、既に各学校で実施してい

る教育活動全体を、キャリア教育の観点で見直し、活動全体を有機的に関連付けることを意識して取り組んだ。

「職業観・勤労観を育むための学習プログラムの枠組み」及び小・中・高等学校での具体的な教育活動例を含む学習プログラムについて、「学習プログラム枠の開発」(p.20からp.31)にまとめた。

(4) キャリア教育実践事例

小・中・高等学校におけるキャリア教育実践を、各活動において「児童・生徒に獲得させたい職業的発達にかかわる諸能力」を明確にしながらまとめた。

ア 【実践事例1】小学校における取組 (p.32からp.37)

「発掘！西尾の町職人 - 見付けよう！キラリ輝く心と技 - 」

西尾市立西尾小学校

イ 【実践事例2】中学校における取組 (p.38からp.46)

「一人一人の職業に対する興味・関心を重視した職場体験学習」

東海市立横須賀中学校

ウ 【実践事例3】高等学校における取組 (p.47からp.55)

「キャリア発達を支援する組織的な職場体験」

県立津島北高等学校

5 研究のまとめと今後の課題

職業観、勤労観は、特定の資質・能力を高めることによってではなく、一人一人の全人的な発達によって形成されるものである。同時に、職業観、勤労観の育成は、全人的な発達を促す重要な取組である。このことをすべての教員が認識し、学校のすべての教育活動を通してキャリア教育が行われるようにすることが大切である。そのためには、現在実施されている教育活動全体をキャリア教育の観点から見直し、その教育的価値を明確にしながら、各活動相互の有機的な組立てを構築し、より効果的な組織づくりを行うことが急務であると考えられる。

6 おわりに

次年度は、授業実践を通して、指導と評価の在り方について検証するとともに、これまでの研究で明らかになってきた課題として、「小・中・高の連携を図るための具体的な方策」、「高等学校普通科におけるキャリア教育の在り方」等についての研究を進め、各学校での実践上の参考となるものにしたいたいと考えている。

キャリア教育の推進に向けて

1 はじめに

- 「すべての教育は、キャリア教育であるべきである」 -

1971年1月23日、全米中等学校長会年次大会の席上、当時の米連邦教育局長官マーランド (Sydney P. Marland Jr.) が述べた言葉である。米国のキャリア教育は、この言葉から始まったと言われている。

「アメリカ教育の最大の欠点は、学校長の教育姿勢であり、教育計画、教育内容の分化、陳腐化であり、教育成果の低下である」と語り、その例として、「知的な教育と職業的な教育との分離」を指摘した。それを改める第一段階として、マーランド長官は、「われわれ教育者が、職業教育を Vocational Education と言うのをやめ、以後キャリア教育 Career Education とする」ことを提案した。彼は、こう述べた後で、「すべての教育は、キャリア教育であるべきである」と断言し、さらに彼は、「教育者のすべての努力は、高卒後直ちに有益、完全な仕事に従事する生徒を育成したり、あるいは進学者のための適切な教育にむけられるべきである」、「私たちが、今日、キャリア発達を語りあうときは、ある特定の仕事や訓練についてでなく、生涯を通じて進歩向上しようとする人々の能力をどう高めるかについて語りあっているのである」と語った。(引用は、仙崎武 他著『21世紀のキャリア開発』より)

2 キャリア教育の定義

「キャリア」とは、一般に、個々人がたどる行路や足跡、経歴、あるいは、特別な訓練を要する職業、職業上の出世や成功、生涯の仕事等を示す用語として使われている。その解釈・意味付けは、極めて多様であり、また、時代の変遷とともに変化してきている。

文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」(平成16年1月)では、「キャリア」及び「キャリア教育」を次のように定義している。

「キャリア」の定義

「キャリア」を「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」ととらえる。

「キャリア教育」の定義

「『キャリア』概念に基づき、児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」、端的には、「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」と定義する。

参考：

「キャリア教育とは、児童生徒が自らの人生を歩む上で、体験的な活動などを通して、働くことの意義など望ましい職業観や勤労観をはぐくみ、また職業に関する知識や技能を身に付けるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育成する教育である」(神奈川県総合教育センター「キャリア教育推進ハンドブック」平成17年3月)

3 キャリア教育導入の経緯

「キャリア教育」の文言が、文部科学行政関連の審議会報告等で初めて登場したのは、「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」(平成11年12月中央教育審議会答申)であり、小学校段階から発達段階に応じてキャリア教育を実施する必要があると提言された。この答申に続く「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について(調査研究報告書)」(平成14年11月国立教育政策研究所生徒指導研究センター)及び「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」(平成16年1月文部科学省)において、キャリア教育導入の経緯、「勤労観、職業観」の定義、キャリア教育導入の意義等についてまとめながら、我が国におけるキャリア教育の推進のための方策を提言している。

今日、少子高齢社会の到来や産業・経済の構造的変化、雇用形態の多様化・流動化などを背景として、将来への不透明さが増幅するとともに、就職・進学を問わず、進路をめぐる環境は大きく変化しており、フリーターやいわゆる「ニート」が大きな社会問題となっている。このような状況の中、子供たちが「生きる力」を身に付け、明確な目的意識をもって日々の学業生活に取り組む姿勢、激しい社会の変化に対応し、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力やしっかりとした勤労観、職業観を身に付け、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育の推進が強く求められている。

キャリア教育導入にかかわる答申等

- | | |
|----------|--|
| 平成11年12月 | 中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」
小学校段階から発達段階に応じてキャリア教育を実施する必要があると提言 |
| 平成14年11月 | 国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について(調査研究報告書)」
「職業観・勤労観」の定義、小・中・高一貫した系統的学習プログラム |
| 平成16年1月 | 文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」
「キャリア教育」の定義、基本方向、推進のための方策 |

キャリア教育の意義(「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」より)

- 1 「キャリア教育は、一人一人のキャリア発達や個としての自立を促す視点から、従来の教育の在り方を幅広く見直し、改革していくための理念と方向性を示すものである」
学校教育の在り方の改善
- 2 「キャリア教育は、キャリアが子供たちの発達段階やその発達課題の達成と深くかかわりながら段階を追って発達していくことを踏まえ、子供たちの全人的な成長・発達を促す視点に立った取組を積極的に進めることである」
子供たちの全人的な成長・発達
- 3 「キャリア教育は、子供たちのキャリア発達を支援する観点に立って、各領域の関連する諸活動を体系化し計画的、組織的に実施することができるよう、各学校が教育課程編成の在り方を見直していくことである」
各学校での教育課程編成の在り方の見直し

4 キャリア教育の推進に向けて

(1) 教員の意識改革

「キャリア教育は、各学校で取り組むべき新たな活動を提案するものではない」

すべての教師が、「キャリア教育は、一人一人のキャリア発達や個としての自立を促す視点から、従来の教育の在り方を幅広く見直し、改革していくための理念と方向性を示すもの」であることを理解し、学校の教育活動全体を通じて、児童生徒の発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進を図る必要がある。

(2) 学習プログラムの開発

「各学校で実施している教育活動全体を、キャリア教育の観点で見直し、活動全体を有機的に関連付けることが大切である」

児童生徒の発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進を図るには、キャリア教育を通して児童生徒にはぐくみたい力、すなわち目標を明確にして取り組む必要がある。

本研究会は、国立教育政策研究所による「職業観・勤労観を育む学習プログラム枠(例)」（国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について(調査研究報告書)」平成14年11月)に示された「4領域8能力」を基に、小・中・高の各3校の研究協力校で実施されている教育活動をこの「4領域8能力」に区分し、小学校から高等学校までの発達段階に応じて系統的に取り組む教育活動を示す一覧表の作成を試みた。本資料が、各学校における児童生徒の実態に応じたキャリア教育実践計画作成の際に参考となれば幸いである。

(3) 小・中・高の連携

『『知ること』及び『共感すること』から連携が始まる』

「キャリア」は児童生徒の発達段階やその段階における発達課題の達成と深くかかわりながら発達していく。児童生徒の全人的な成長・発達を促す視点に立った取組を小・中・高の連携の下、積極的かつ系統的に進めるためには、各発達段階での学校の取組内容及びその意義を知ることがまず大切である。

5 おわりに

職業観、勤労観は、特定の資質・能力を高めることによってではなく、一人一人の全人的な発達によって形成されるものである。同時に、職業観、勤労観の育成は、全人的な発達を促す重要な取組である。このことをすべての教員が認識し、学校のすべての教育活動を通してキャリア教育が行われるようにすることが大切である。そのためには、現在実施されている教育活動全体をキャリア教育の観点から見直し、その教育的価値を明確にしながら、各活動相互の有機的な組立てを構築し、より効果的な組織づくりを行うことが急務であると考えます。

キャリア教育に関するアンケート

愛知県における市町村立小学校，中学校及び県立高等学校の教員のキャリア教育に対する意識と各学校における取組の現状を調査して，今後の「キャリア教育推進に関する調査研究」の基礎的な資料を作成する目的でアンケートを実施した。

1 アンケート実施概要

(1) 調査方法及びアンケート内容

下記の2種類を質問紙法により実施（アンケートは，巻末資料1（p.56からp.60）に掲載）

(ア) キャリア教育に関するアンケート（キャリア教育担当者用）：各学校における取組状況調査

(イ) キャリア教育に関するアンケート（教員用）：キャリア教育に対する教員の意識調査

（回答にはマークカードを利用）

(2) 調査対象

小学校24校，中学校16校，高等学校21校，計61校に所属する教員1,731名及び各校のキャリア教育担当者61名

アンケート調査対象校及び調査対象者数

学校種	学校数	教員数	学校基本調査教員数	抽出率（％）
市町村立小学校	24	498	21,440	2.3
市町村立中学校	16	385	11,395	3.4
県立高等学校	21	848	11,173	7.6
計	61	1,731	44,008	3.9

注意1：教員数は，調査対象校の管理職及び教諭（養護教諭等を含む）の数

注意2：抽出率は，平成18年度学校基本調査（平成18年5月1日）のデータを基に算出

注意3：県立高等学校の学校基本調査教員数は，全日制の人数

地区別抽出校数（市町村立小・中学校）

地区	尾張	海部	知多	西三河	豊田加茂	新城設楽	東三河	計
小学校数	6	2	2	5	4	1	4	24
中学校数	7	1	2	3	0	1	2	16
計	13	3	4	8	4	2	6	40

地区別抽出校数（県立高等学校）

地区	名北	名南	尾東	尾北	尾中	尾西	知多	西三北	西三東	西三南	東三南	東三北	計
高校数	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	21

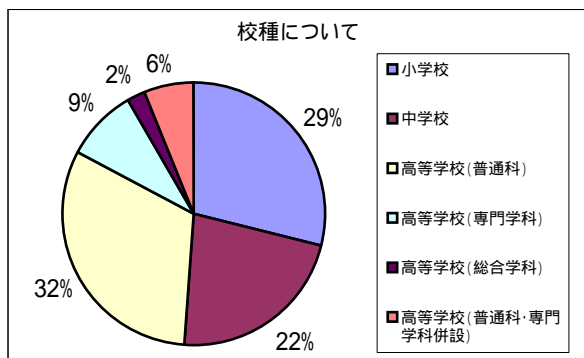
(3) 調査期間

平成18年7月28日（金）から8月28日（月）までに実施

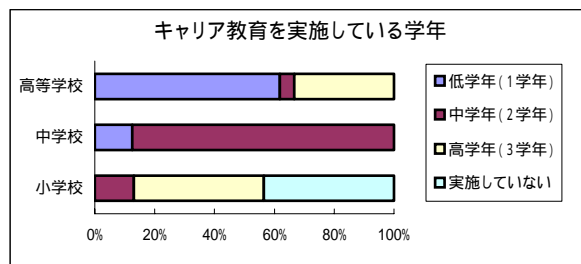
2 アンケート結果概要

(1) キャリア教育担当（学校代表）への調査結果

ア 校種について

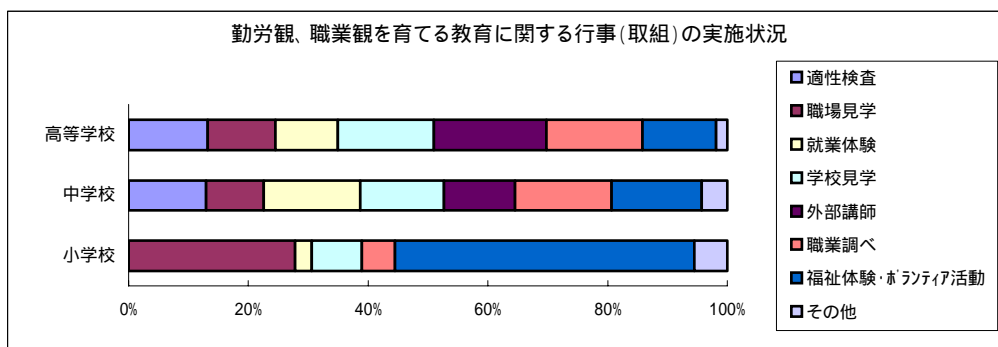


イ キャリア教育を実施している学年



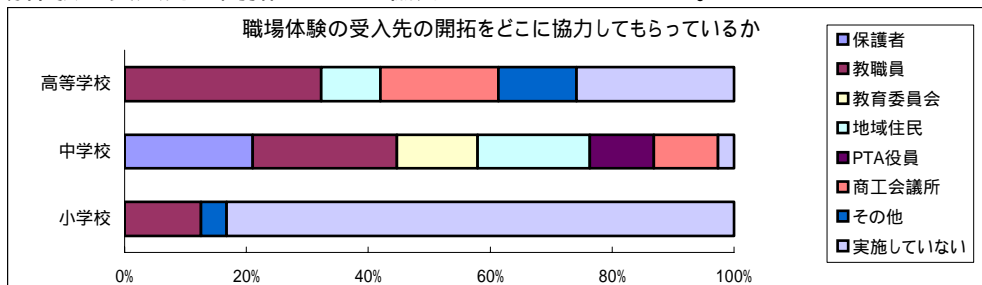
学校名	低学年(1学年)	中学年(2学年)	高学年(3学年)	実施していない
小学校	0.0%	12.5%	41.7%	41.7%
中学校	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%
高等学校	61.9%	4.8%	33.3%	0.0%

ウ 勤労観、職業観を育てる教育に関する行事(取組)の実施状況



学校名	適性検査	職場見学	就業体験	学校見学	外部講師	職業調べ	福祉体験・ボランティア活動	その他
小学校	0.0%	41.7%	4.2%	12.5%	0.0%	8.3%	75.0%	8.3%
中学校	75.0%	56.3%	93.8%	81.3%	68.8%	93.8%	87.5%	25.0%
高等学校	66.7%	57.1%	52.4%	81.0%	95.2%	81.0%	61.9%	9.5%
全体	42.6%	50.8%	44.3%	54.1%	50.8%	55.7%	73.8%	13.1%

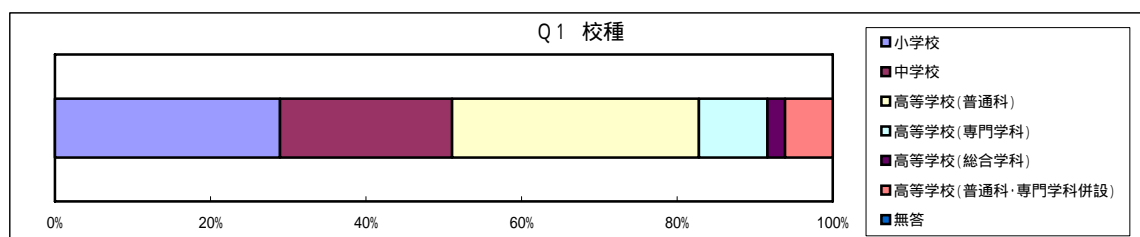
エ 職場体験の受入先の開拓をどこに協力してもらっているか。



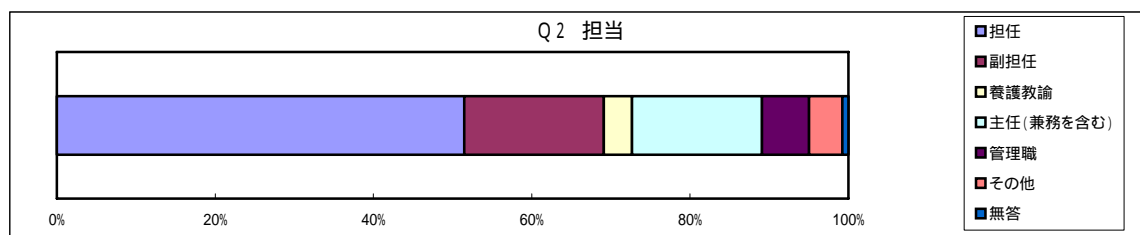
学校名	保護者	教職員	教育委員会	地域住民	PTA役員	商工会議所	その他	実施していない
小学校	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	83.3%
中学校	50.0%	56.3%	31.3%	43.8%	25.0%	25.0%	0.0%	6.3%
高等学校	0.0%	47.6%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%	19.0%	38.1%
全体	13.1%	36.1%	8.2%	16.4%	6.6%	16.4%	8.2%	47.5%

(2) キャリア教育に対する教員の意識調査結果

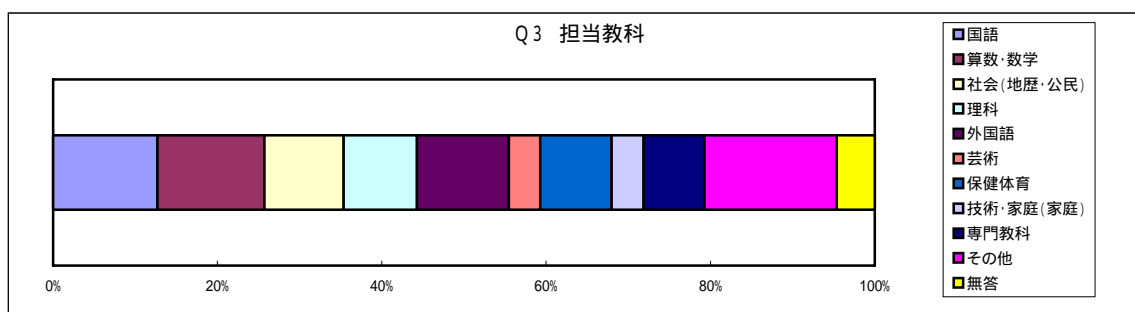
ア 基礎項目について



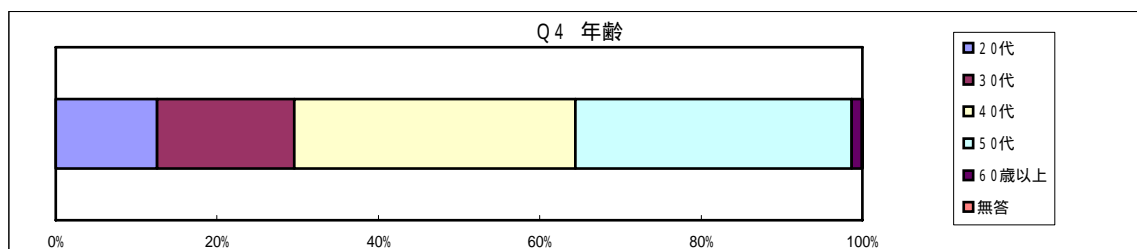
1731人分のデータの内訳は、小学校が約30%、中学校が約20%、高等学校が約50%である。



担任をしている教員が51.5%と最も多い。続いて、副担任17.6%、主任16.4%、管理職6%、養護教諭3.6%である。

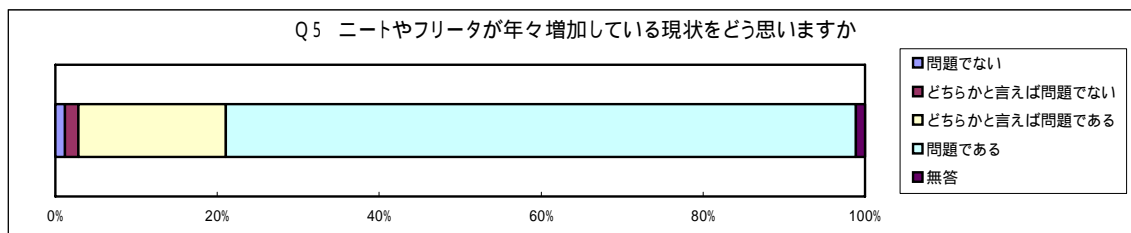


各学校の全職員から回答を得たことで、担当教科も全教科にわたっている。授業時数の関係で、芸術と技術・家庭科の担当はやや少なくなっている。

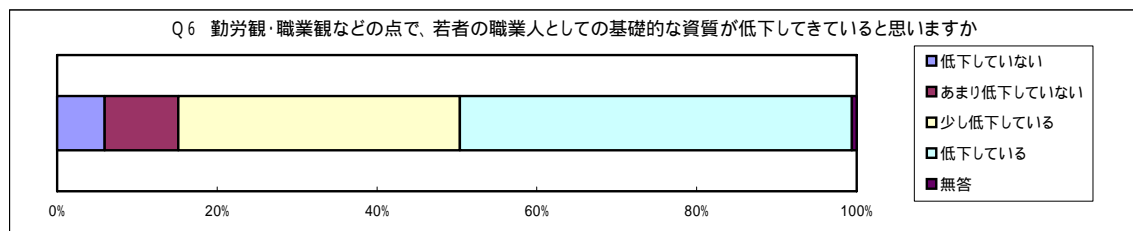


年齢別に見ると、40代と50代が多く、両方で全体のほぼ70%になっている。また30代は17%、20代は12%という割合になっている。

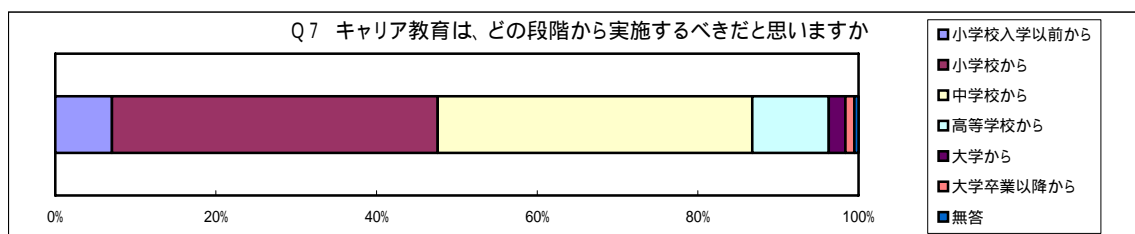
イ キャリア教育に対する意識について



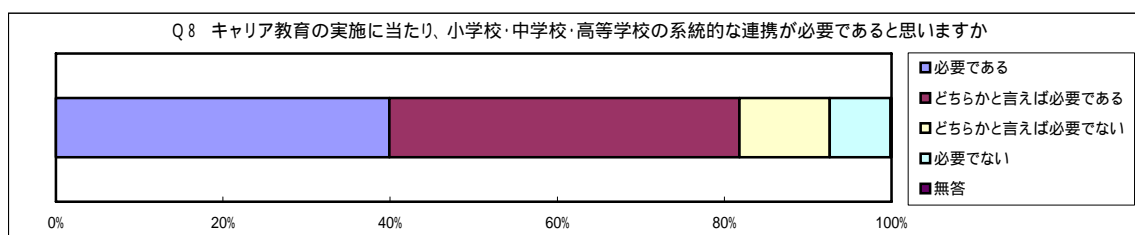
ニートやフリーターが増加していることに、何らかの問題を感じている数が96.1%にも達している。



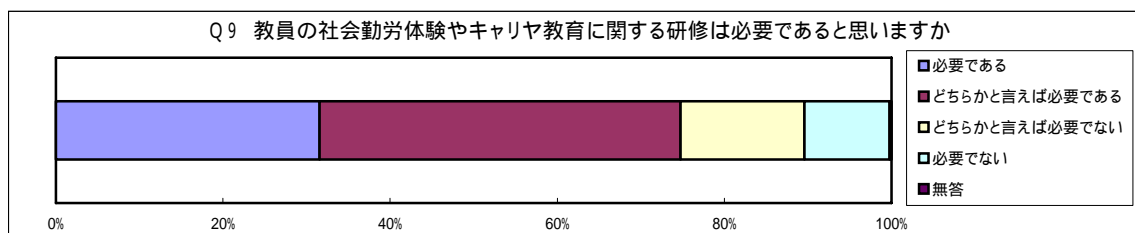
若者の職業人としての資質の低下を感じている数も84.3%と高い数字が出ている。



小学校の40.6%が最も多く、次に中学生の39.2%と早い段階からの実施が必要だと考えている。実施開始の段階を、小学校か中学校とするかは意見が分かれるところである。また高等学校からは9.5%と高校以降からは遅いという考えが表れている。

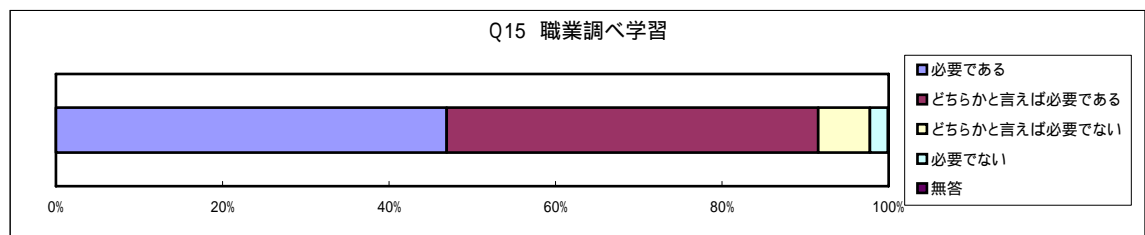
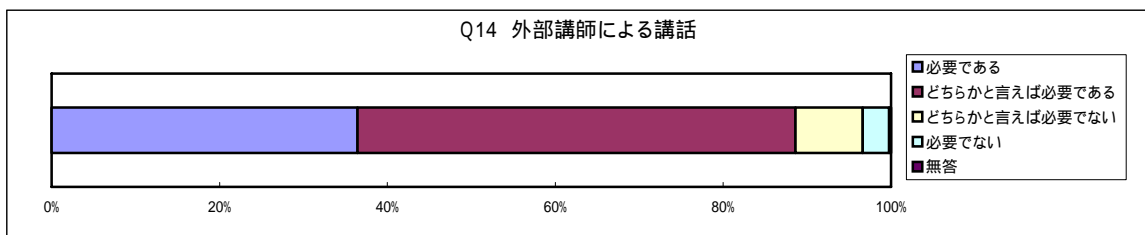
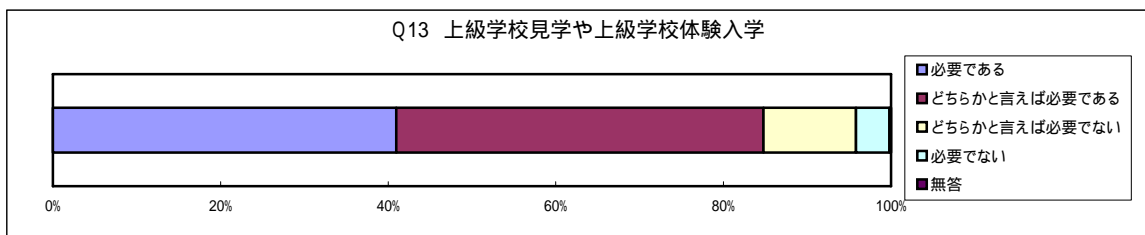
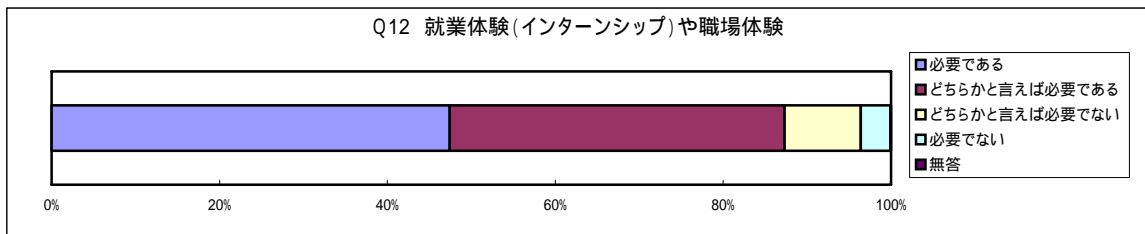
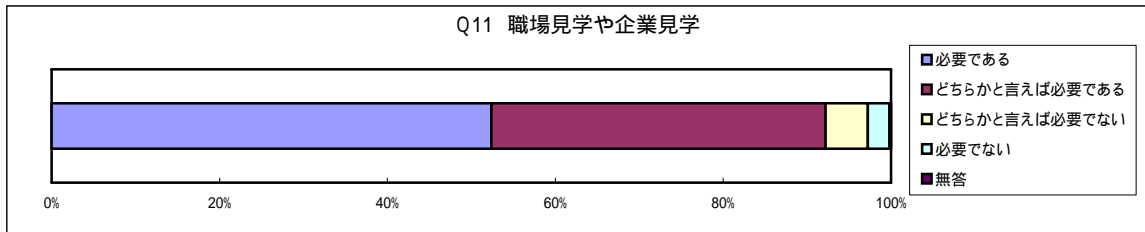
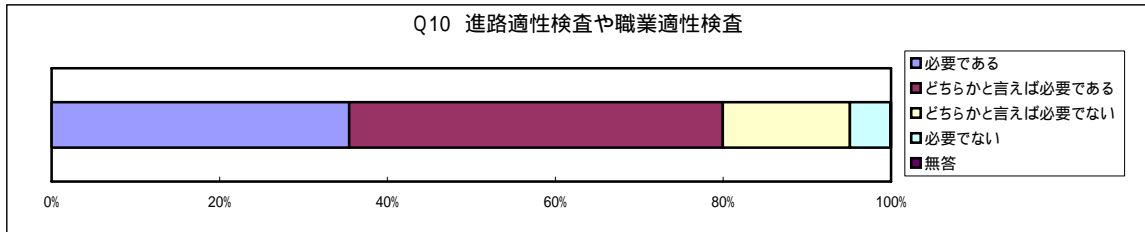


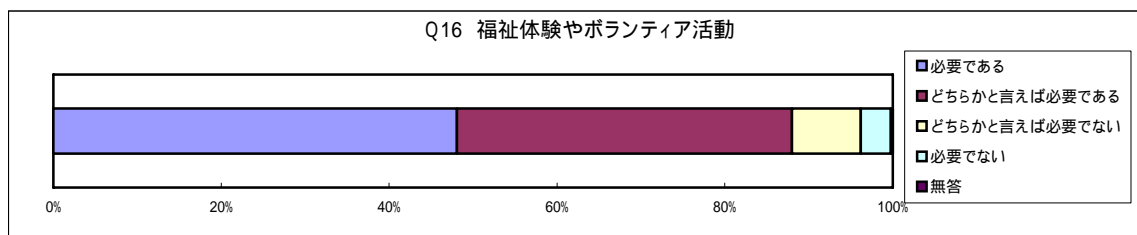
81.8%と多くが系統的な連携を必要と考えている。今後、小中高の連携を考えて学習プログラムの開発を進めていく必要がある。



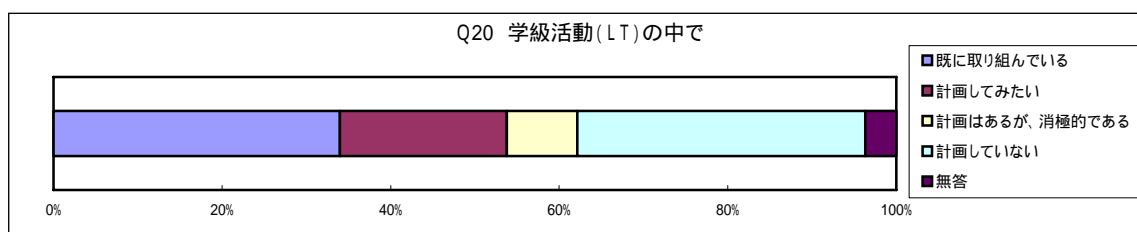
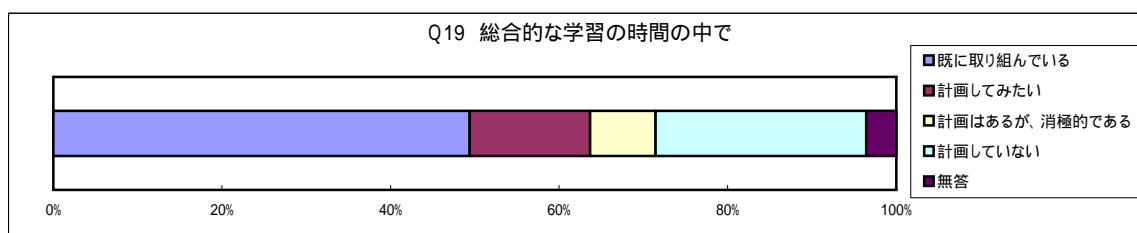
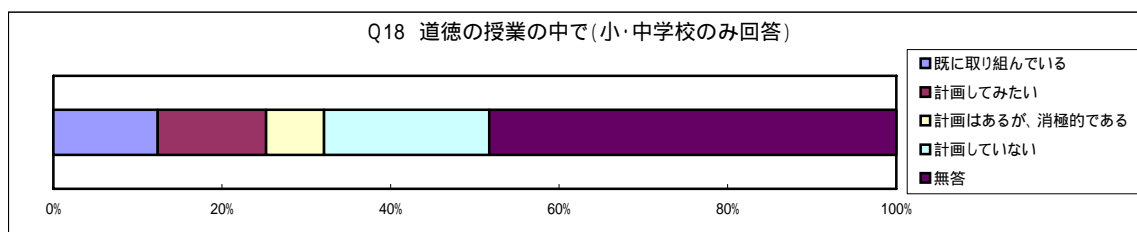
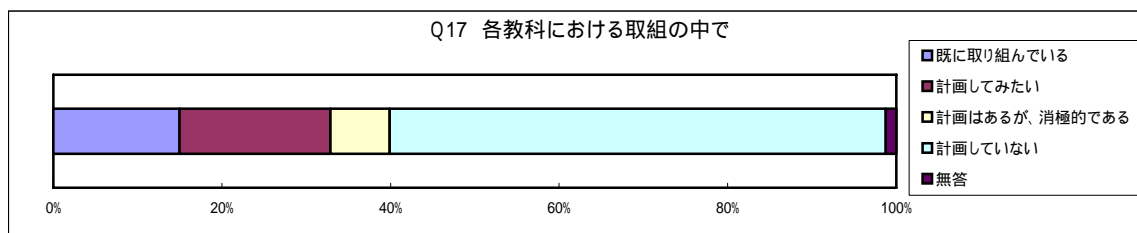
教員の社会勤労体験、キャリア教育に関する研修の必要性を74.8%が感じている。キャリア教育を進めていく上で、専門的な知識や経験の必要性が強く求められていると言える。

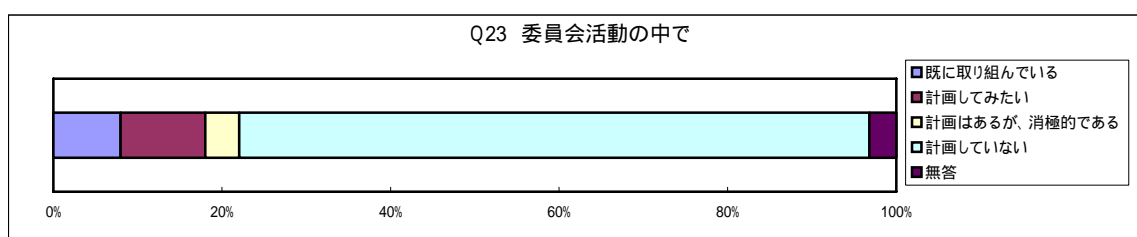
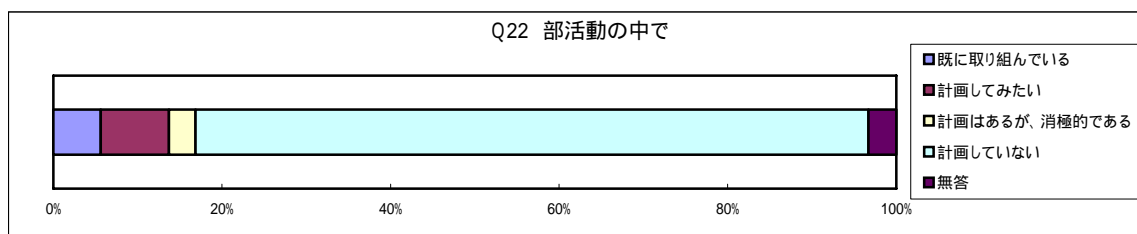
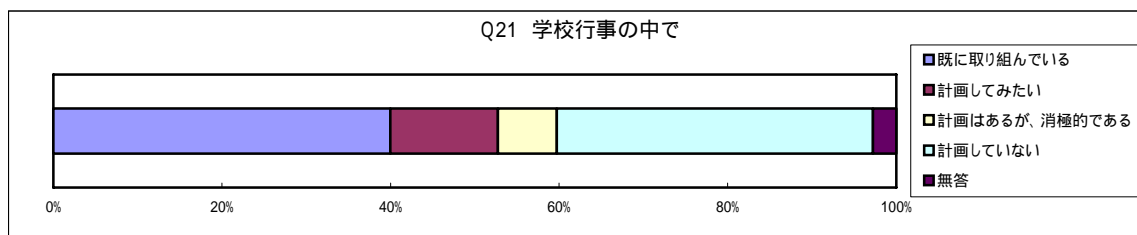
ウ キャリア教育の取組について





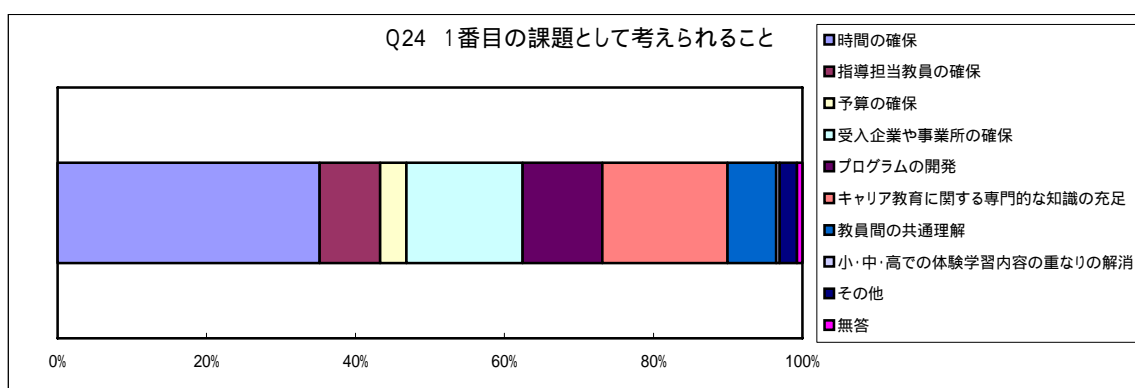
いずれの活動も「必要である」と「どちらかと言えば必要である」とを合わせると80%～90%以上になっている。多くの中学校、高等学校が勤労観・職業観を育てる教育に関する活動に取り組んでいる実態を考えると、キャリア教育を進めていく上で、様々な体験活動が有効であると多くの教員が感じているということである。しかし、小学校での取組や中学校・高等学校の職場見学など、やや取組の少ない活動については今後も検討する必要がある。福祉体験・ボランティア活動の実施状況は小・中・高ともに高い数値が出ている。体験活動は職業観や勤労観を育てていく上で、とても重要なものであり、必要なものであると考えられている。

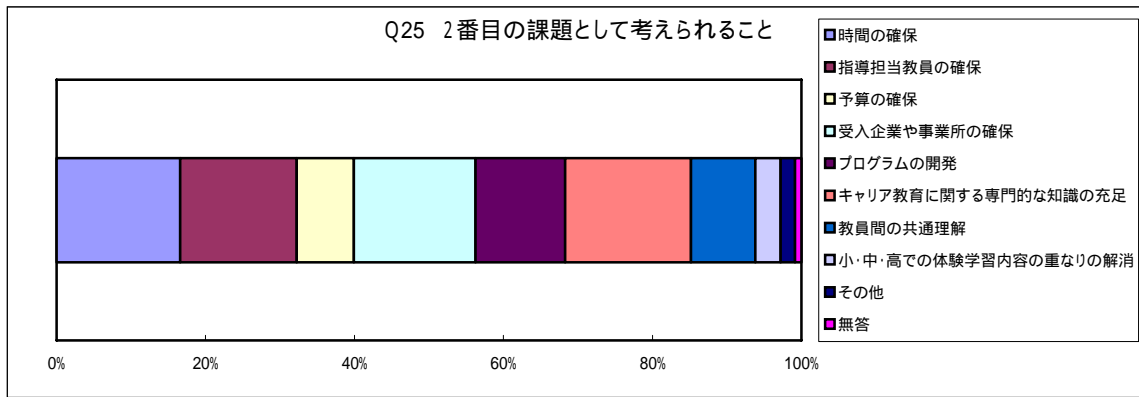




総合的な学習の時間を中心に道徳や学級活動の時間を使って、関連した取組が行われている。しかし、各教科での取組は60%が計画されてもいないという結果が表すように、教科指導の中での取組はまだ少なく、意識も低い状況にある。部活動や委員会活動の中では計画していないという回答が多い。

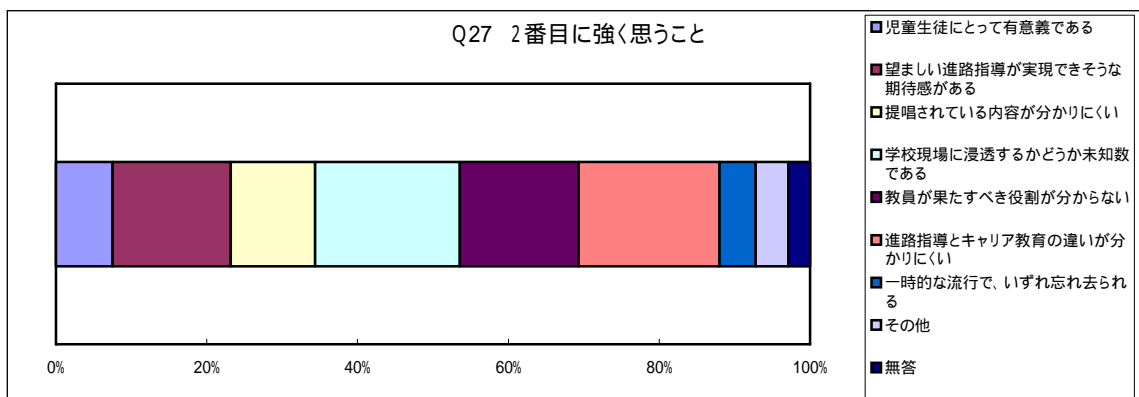
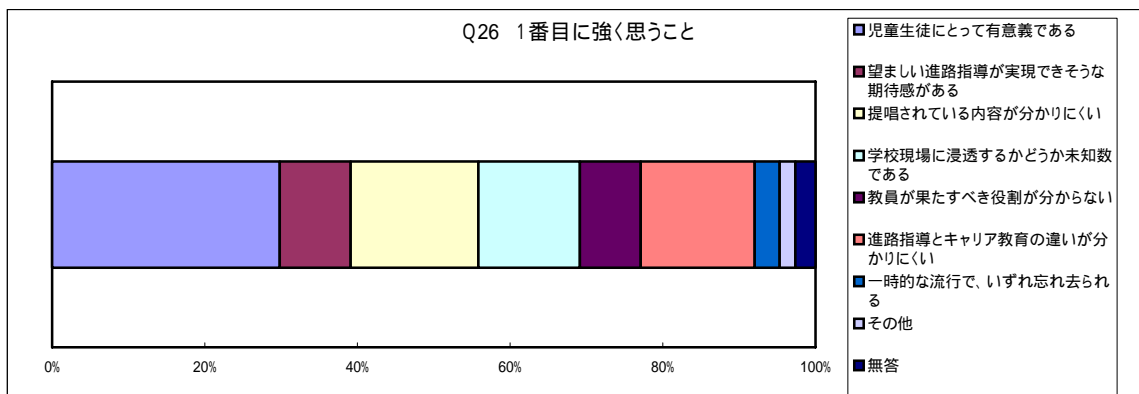
考察：様々な教育活動がキャリア教育に関連していることをすべての教員に認識してもらう必要がある。部活動や委員会活動でも「あいさつの大切さを意識する」、「目標をもち、それを達成するために努力する」、「仲間と協力し合って行なう」など、キャリア教育につながる活動としてとらえ直していく必要を感じる。また、教科の学習内容を検討し、キャリア教育と関連させた学習プログラムを作成することで意識を高める必要を感じる。





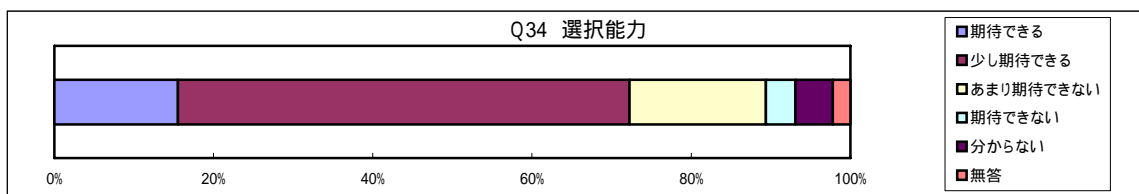
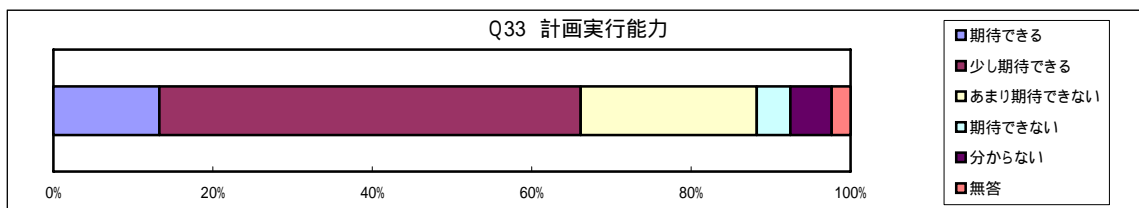
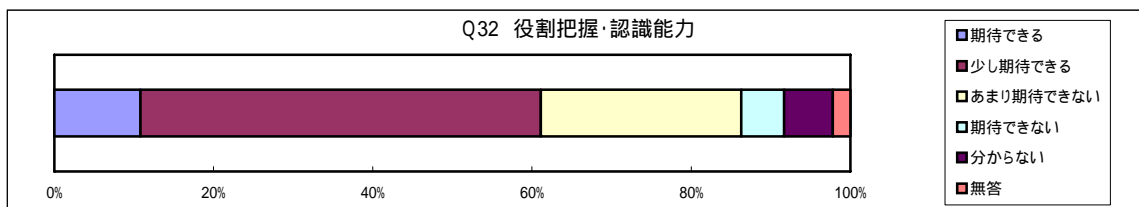
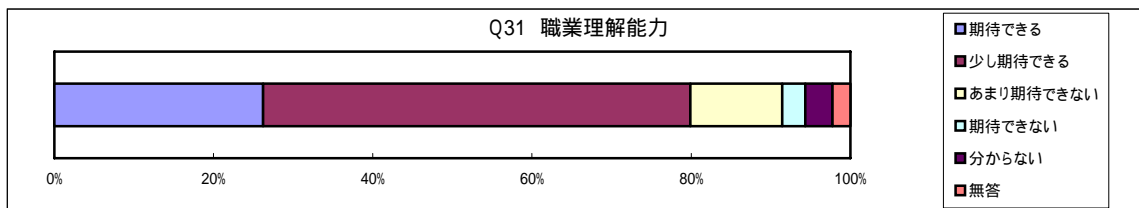
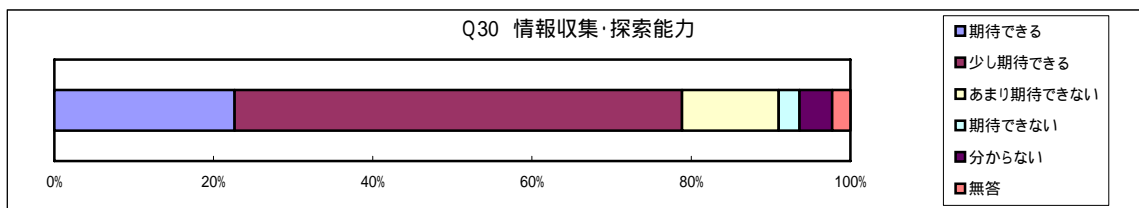
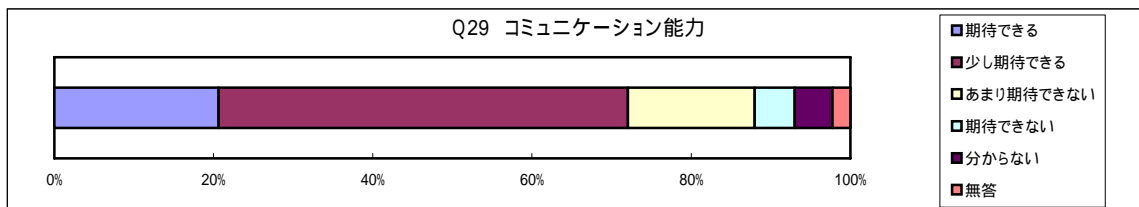
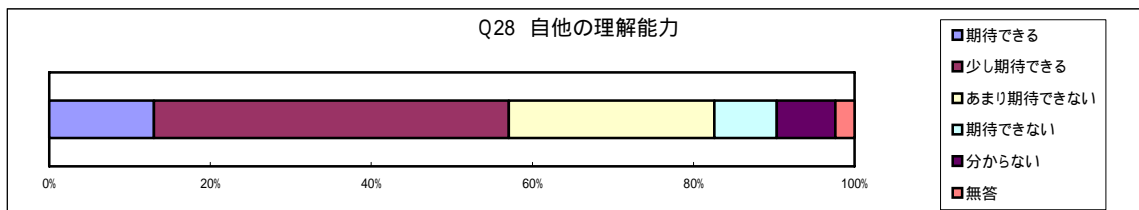
1番目の課題として35.2%の教員が「時間の確保」を挙げている。1番目と2番目の課題を合わせて考えてみると、「時間の確保」、「受入企業や事業所の確保」、「キャリア教育に関する専門的な知識の充足」の三つが飛び抜けて高い数字となっている。

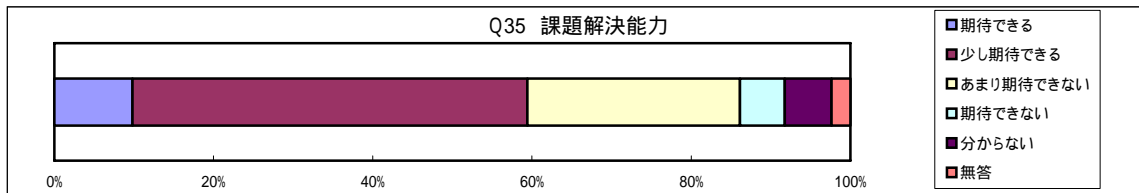
考察：実際に職場体験や就業体験を行っている学校現場においては、「事前指導や事後指導を含めた活動の時間をどのようにするか」、「受け入れていただく事業所の開拓」などに苦労している現実が見えてくる。



29.8%の教員がキャリア教育を進めていくことは児童生徒にとって有意義であるという認識をもっている。その反面「提唱されている内容が分かりにくい」を16.8%が1番目に挙げ、11.3%が2番目に挙げている。また、「進路指導とキャリア教育の違いが分かりにくい」を14.9%が1番目に挙げ、18.7%が2番目に挙げている。このことから、キャリア教育の意義や内容を広く伝え、現場に浸透させる手だてを一層工夫していかななくてはならないと考える。「教員が果たすべき役割が分からない」を15.8%が2番目に挙げていることから、教員の果たすべき役割を明確にすることが大切になっていることが分かる。

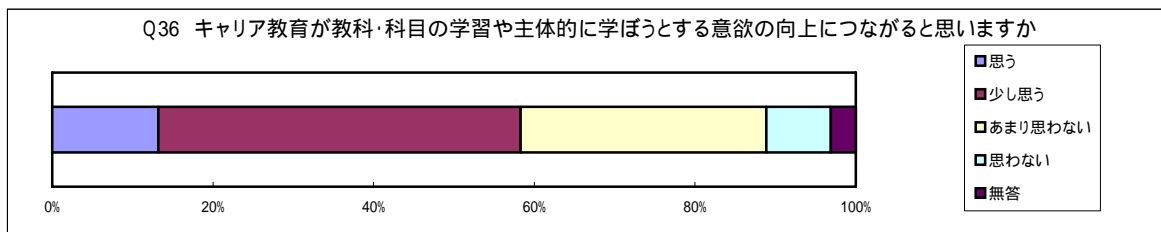
エ キャリア教育の今後について



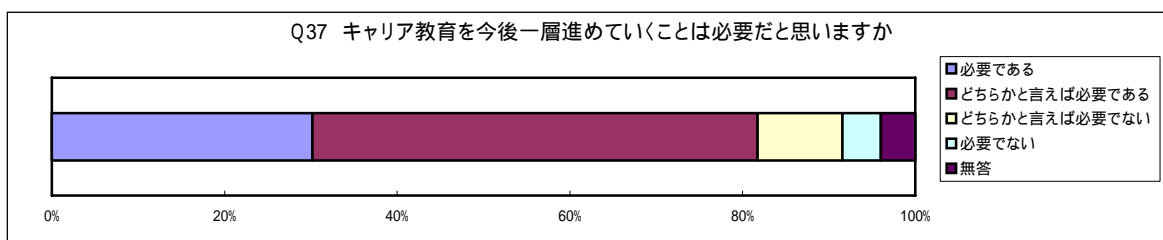


8能力のどれもが約60%～80%という高い割合で、キャリア教育において高められるとして期待されている。特に「コミュニケーション能力」、「情報収集・探索能力」、「職業理解能力」を期待できるが20%を超え、少しは期待できると合わせると70%を超えている。「課題解決能力」を期待できるが9.8%、少し期待できると合わせても59.5%と最も低い数値となっている。

考察：「自他の理解能力」の育成が期待できないという割合が7.7%で他と比較して多くなっていることは、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合う能力の育成が、「勤労観、職業観を育てるキャリア教育」と、関連性があるとは考えられていないからではないかと思われる。次いで多い「役割把握・認識能力」及び「課題解決能力」については、実際の学校生活の中での教育活動で、どのように育成していけばよいか、その能力の育成の難しさを感じているからだと考えられる。したがって「何を」「どうすることによって」これらの能力を育成できるかという手だてを、今後考えていかななくてはならない。



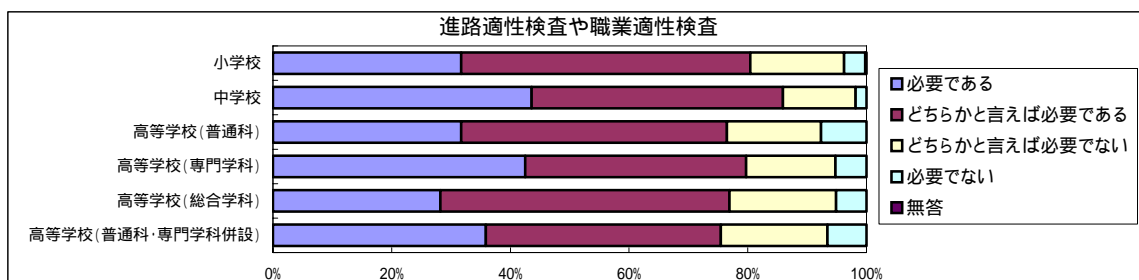
「思う」と「少し思う」とを合わせると58.3%あり、半数以上の教員が各教科への学習意欲とも関連しており、児童生徒の主体的に学ぼうとする意欲の向上につながっていると考えている。



「必要である」と「どちらかといえば必要である」を合わせると80%を超えており、キャリア教育の必要性を多くの教員が感じている。今後も積極的な取組を行っていく必要性を強く感じる。

(3) 参考資料（校種別に見るキャリア教育の取組）

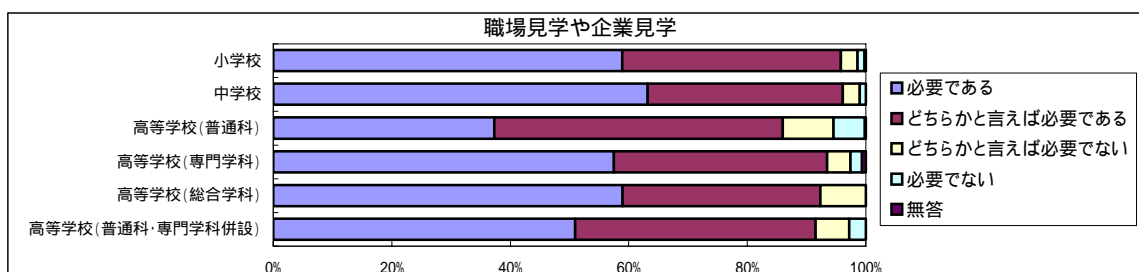
クロス集計により、キャリア教育の取組状況を校種別にまとめてみた。



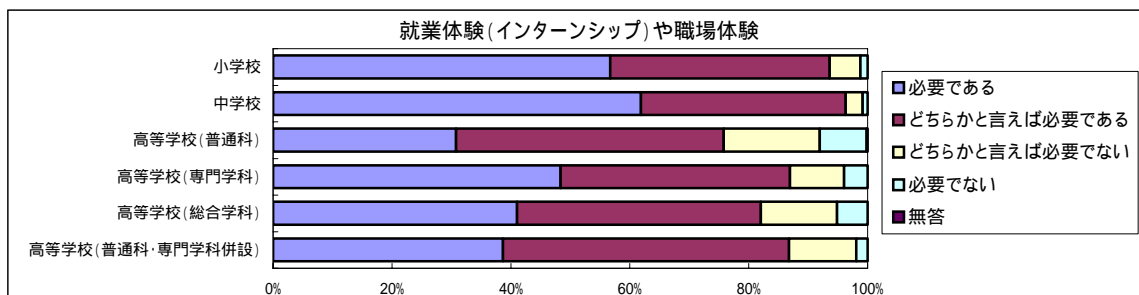
「進路適性検査や職業適性検査」の必要性について、「必要である」を選んだ割合で最も高かったのは中学校の43.6%であった。次いで高等学校（専門学科）が42.5%であった。

中学校では、上級学校への進路の適性の確認、高等学校（専門学科）では、就職への適性の確認が必要のため、このような結果になったと思われる。

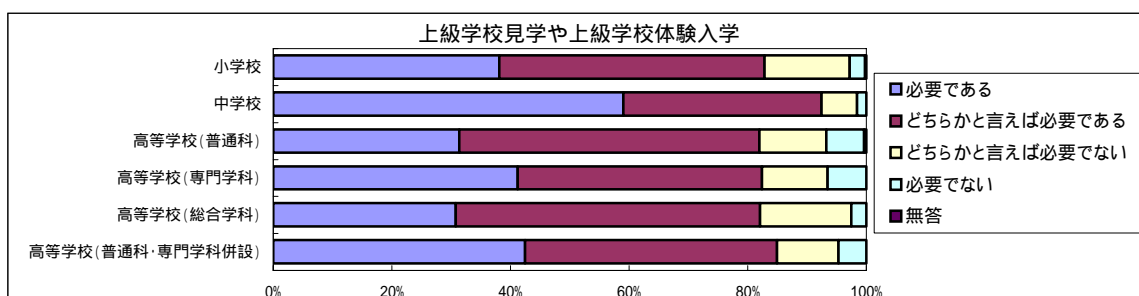
高等学校の普通科や総合学科では低い割合となっているが、進学に関する模擬試験なども設問に含まれていれば割合は高くなったのではないかと考えられる。



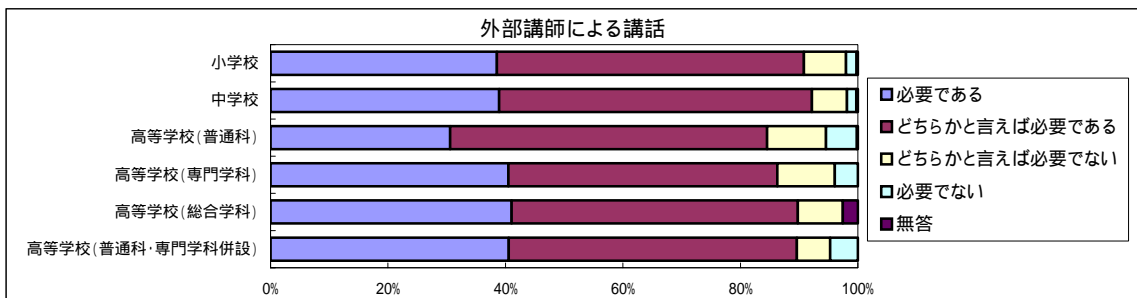
「職場見学や企業見学」の必要性について、「必要である」を選んだ割合で最も低かったのは高等学校（普通科）の37.3%であった。



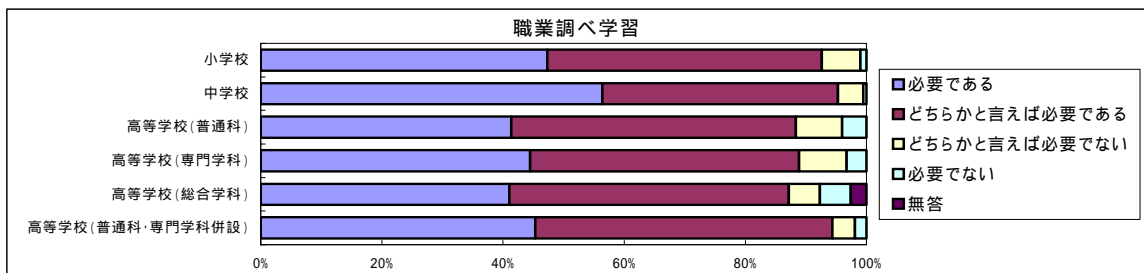
「就業体験（インターンシップ）や職場体験」の必要性について、高等学校では小学校，中学校と比較して肯定的に考えている教員の割合が低い。



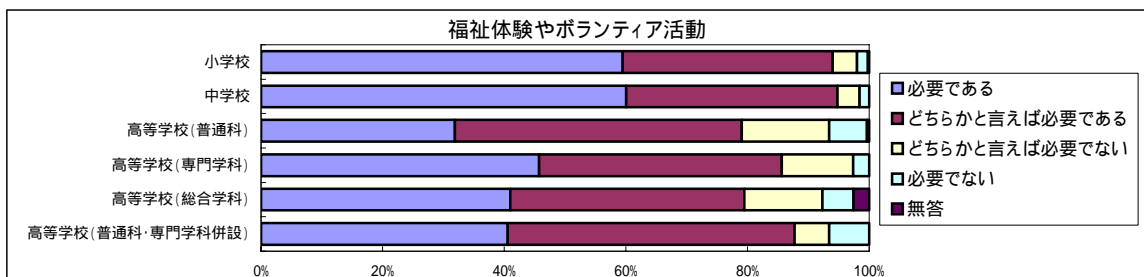
「上級学校見学や上級学校体験入学」の必要性について、「必要である」を選んだ割合で中学校が59.0%と極めて高い割合を示している。



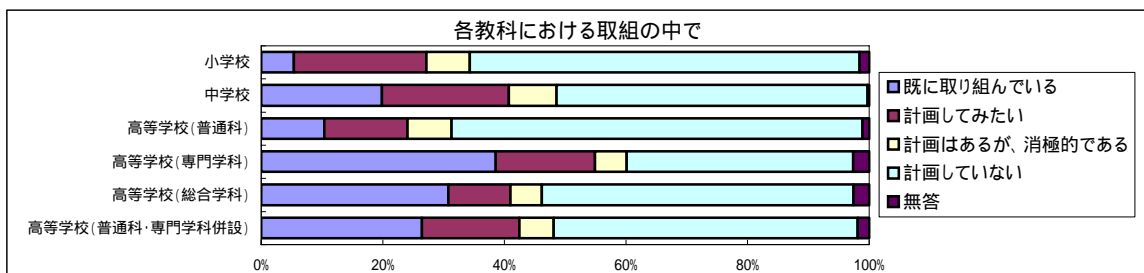
「外部講師による講話」の必要性について、高等学校（普通科）では「必要である」を選んだ割合が30.6%と低い。



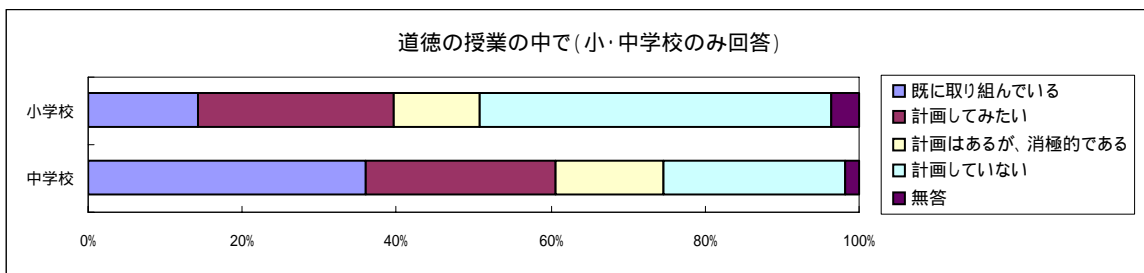
「職業調べ学習」の必要性について、「必要である」を選んだ割合で中学校が56.4%で他の校種と比べて高くなっている。



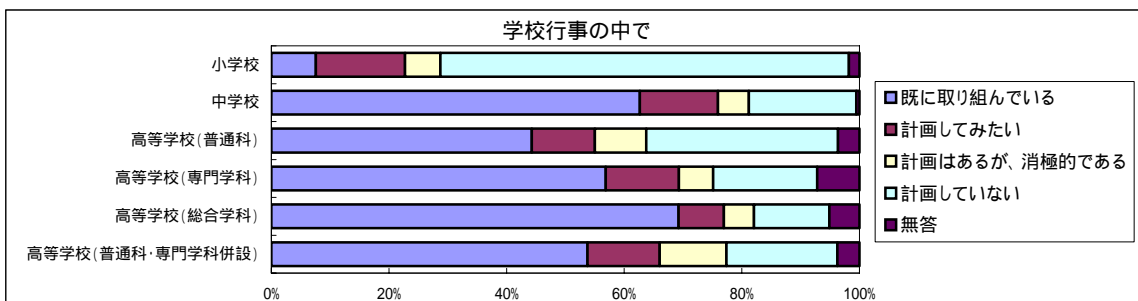
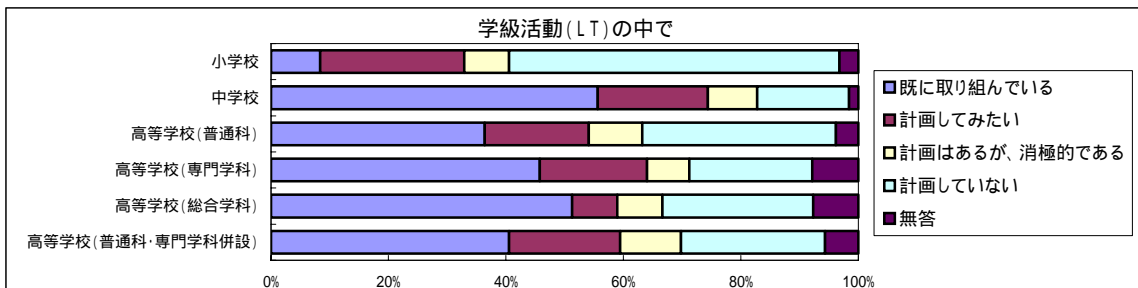
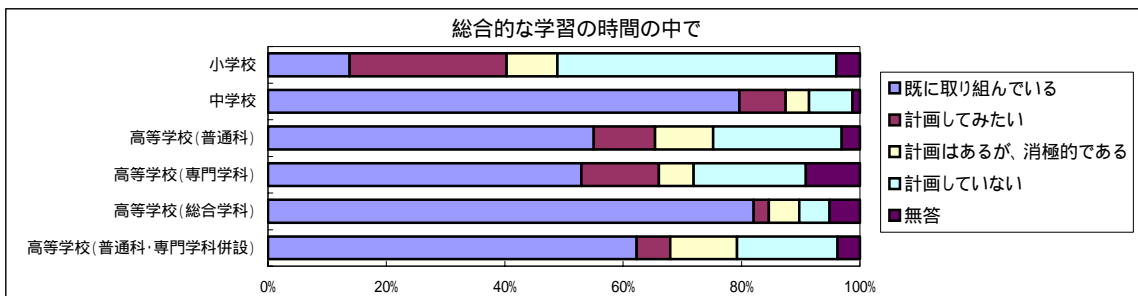
「福祉体験やボランティア活動」の必要性について、高等学校では小学校，中学校と比較して肯定的に考えている割合が低い。高等学校（普通科）では31.9%となっている。



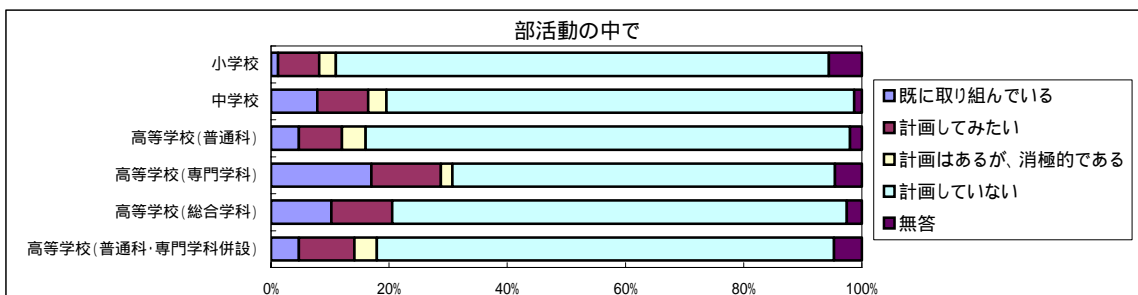
「各教科の取組の中で」の取組について、「既に取り組んでいる」を選んだ割合で、高等学校の専門学科と総合学科で高いが、他の校種では低い割合となっている。



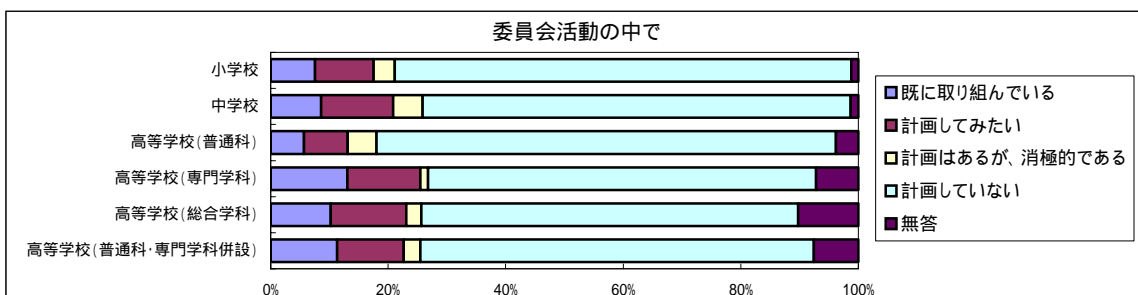
「道徳の授業の中で」の取組について、「既に取り組んでいる」を選んだ割合は、小学校で14.4%，中学校で36.0%となっている。



「総合的な学習の時間の中で」、「学級活動(LT)の中で」及び「学校行事の中で」の取組について、「既に取り組んでいる」を選んだ割合が高いのは、中学校と高等学校(総合学科)である。小学校においては10%前後と極めて低くなっている。



「部活動の中で」の取組について、すべての校種を通じて計画していない割合が極めて高いが、その中でも高等学校(専門学科)においては「既に取り組んでいる」割合が17.0%となっている。



「委員会活動の中で」の取組について、高等学校(普通科)の「既に取り組んでいる」割合が5.7%と低い。

学習プログラム枠の開発

1 職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組みについて

「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）」（平成14年11月国立教育政策研究所生徒指導研究センター）で示された「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み（例）」は、職業観・勤労観に支えられて発達する能力・態度にはどのようなものがあるかという視点に立って、各学校段階で育成することが期待される能力・態度を検討して作成したものである。具体的には、「人間関係形成能力」、「情報活用能力」、「将来設計能力」、「意思決定能力」の4能力領域に大別し、それぞれを構成する能力を、各二つずつ計8能力に整理している。

4領域と8能力

職業的（進路）発達にかかわる諸能力		小学校			中学校	高等学校
能力領域	能力	低学年	中学年	高学年		
人間関係形成能力	【自他の理解能力】					
	【コミュニケーション能力】					
情報活用能力	【情報収集・探索能力】					
	【職業理解能力】					
将来設計能力	【役割把握・認識能力】					
	【計画実行能力】					
意思決定能力	【選択能力】					
	【課題解決能力】					

2 活用に当たっての留意点

本枠組み(例)は、4能力領域を観点として児童生徒の発達を見ていく見取り図ともいえるべきものである。したがって、各学校において、児童生徒がどのような能力・態度がどの程度身に付いているか等について点検したり、評価したりする際の一つの参考として、この枠組み(例)を活用することが可能である。また、現在行われている各学校一つ一つの活動が、どのような能力を目指したものを明確にしたり、全体としてバランスのとれた取組となっているか、どの能力・態度の育成にかかわる取組が不足しているのか等について、点検・見直しを行ったりする際の参考として活用できるものとなっている。

実践に当たっては、4能力領域は相互に深く影響を与え合うものであること、また一つの活動によって複数の能力・態度の伸長が可能であることなどに留意し、特定の発達段階（学年）において、4能力領域の全体を総合的に発達させることを目指して取り組むようにすることが大切である。

3 学習プログラム枠の開発

本研究では、「職業観・勤労観を育むための学習プログラムの枠組み（例）」において示された小・中・高等学校の各段階で育成すべき具体的な能力・態度の育成を目指す学習プログラムの開発に当たり、本研究会研究委員が所属する学校で既の実施している教育活動全体を、この「4領域8能力」に区分し、小学校から高等学校までの発達段階と「4領域8能力」によって系統的に整理し、一覧表にまとめた。

小・中・高等学校別の具体的な教育活動例は、次のとおりである。

(1) 小学校

4領域	8能力	具体的な教育活動例
人間関係形成能力	【自他の理解能力】 【コミュニケーション能力】	道徳（心のノート）、良いところ見付け、自己紹介、スピーチ、SGE*、国語、学級会、委員会・クラブ活動、総合的な学習の時間・生活科等
情報活用能力	【情報収集・探索能力】 【職業理解能力】	道徳（心のノート）、学校探検、校区探検、社会（暮らし）、社会（産業）、修学旅行、係活動、日直、当番活動等
将来設計能力	【役割把握・認識能力】 【計画実行能力】	道徳（心のノート）、係活動、当番活動、家庭科、飼育活動、栽培活動、総合的な学習の時間、生活科、修学旅行等
意思決定能力	【選択能力】 【課題解決能力】	道徳（心のノート）、学級会、総合的な学習の時間、係活動、当番活動、年生になって、生活科、集会活動、学期ごとの目当て等

（*SGE：構成的グループ・エンカウンター）

(2) 中学校

4領域	8能力	具体的な教育活動例
人間関係形成能力	【自他の理解能力】 【コミュニケーション能力】	道徳、オリエンテーション合宿、体育祭、文化祭、サンクスカード、SGE*、福祉教室、ボランティア活動、新入生を迎える会等
情報活用能力	【情報収集・探索能力】 【職業理解能力】	職場体験学習、なりたい職業調べ、社会人と語る会、職業講座、マナー講座、1年後の私、上級学校調べ、情報と私たちの生活、経営者になってみよう等
将来設計能力	【役割把握・認識能力】 【計画実行能力】	職場体験学習、なりたい職業調べ、社会人と語る会、人生夢プラン、進路説明会、体験入学、係の仕事、テスト計画、政府の仕事と租税等
意思決定能力	【選択能力】 【課題解決能力】	進路説明会、職業適性検査、職場選びのハローワーク、選択教科の決定、職場体験学習、トレーディングゲーム、上級学校調べ、自然災害と人々の暮らし、修学旅行等

（*SGE：構成的グループ・エンカウンター）

(3) 高等学校

4領域	8能力	具体的な教育活動例
人間関係形成能力	【自他の理解能力】 【コミュニケーション能力】	インターンシップ、体育大会、文化祭、修学旅行、式典行事、進路希望調査、体験発表会、ボランティア活動、部活動等

情報活用能力	【情報収集・探索能力】 【職業理解能力】	インターンシップ，進路ガイダンス，体験入学，会社見学，職業資格調べ，卒業生講話，進路研究，ビジネスマナー，求人情報等
将来設計能力	【役割把握・認識能力】 【計画実行能力】	インターンシップ，体育大会，文化祭，修学旅行，儀式行事，進路希望調査，外部講師講話，体験入学，科目コース選択等
意思決定能力	【選択能力】 【課題解決能力】	インターンシップ，進路ガイダンス，模擬試験，担任面接，保護者会，科目コース選択，学校行事，ボランティア活動，資格取得等

上記の表のようにまとめてみると、キャリア教育は、特別なメニューや特別の時間を確保しなければならないものではなく、ふだん各学校で行っている様々な教育活動そのものが、キャリア教育の中核をなすものであると認識することができる。さらに、小・中・高等学校の各発達段階において、具体的にどのようなキャリア教育がなされているのかを知ることも非常に大切なことである。

(4) 全体

本研究会研究委員の所属する学校で実施している教育活動全体を、この「4領域8能力」に区分し、職業的（進路）発達にかかわる諸能力の育成の視点から小学校から高等学校までの発達段階に応じて系統的に整理した一覧表を次のとおり作成した。

- ア 「学習プログラムの枠組み（例）」全体
4領域8能力の育成が期待される教育活動例
- イ 「学習プログラムの枠組み（例）」詳細 No. 1
人間関係形成能力 【自他の理解能力】の育成が期待される教育活動例
- ウ 「学習プログラムの枠組み（例）」詳細 No. 2
人間関係形成能力 【コミュニケーション能力】の育成が期待される教育活動例
- エ 「学習プログラムの枠組み（例）」詳細 No. 3
情報活用能力 【情報収集・探索能力】の育成が期待される教育活動例
- オ 「学習プログラムの枠組み（例）」詳細 No. 4
情報活用能力 【職業理解能力】の育成が期待される教育活動例
- カ 「学習プログラムの枠組み（例）」詳細 No. 5
将来設計能力 【役割把握・認識能力】の育成が期待される教育活動例
- キ 「学習プログラムの枠組み（例）」詳細 No. 6
将来設計能力 【計画実行能力】の育成が期待される教育活動例
- ク 「学習プログラムの枠組み（例）」詳細 No. 7
意思決定能力 【選択能力】の育成が期待される教育活動例
- ケ 「学習プログラムの枠組み（例）」詳細 No. 8
意思決定能力 【課題解決能力】の育成が期待される教育活動例

		小 学 校			中 学 校		高 等 学 校	
		低 学 年	中 学 年	高 学 年	現 実 的 探 索 と 暫 定 的 選 択 の 時 期		現 実 的 探 索 ・ 試 行 と 社 会 的 移 行 準 備 の 時 期	
職業的(進路)発達段階		進路の探索・選択にかかわる基盤形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期		現実的探索・試行と社会的移行準備の時期	
職業的(進路)発達課題(小～高等学校段階) 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面からとらえたもの。		<ul style="list-style-type: none"> 自己及び他者への積極的関心・意欲の向上 身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成 			<ul style="list-style-type: none"> 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 進路計画の立案と暫定的選択 生き方や進路に関する現実的探索 		<ul style="list-style-type: none"> 自己理解の深化と自己受容 選択基準としての職業観・勤労観の確立 将来設計の立案と社会的移行の準備 進路の現実吟味と試行的参加 	
職業的(進路)発達にかかわる諸能力		職業的(進路)発達を促すための能力・態度を育成することが期待される具体的な教育活動						
領域	領域説明	能力説明						
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。	【自他の理解能力】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切に行動していく能力	【道徳】2-(3)(4)(ノート) 【行事】 【特活】自己紹介 【生活】友達や地域の人々とのかわり 【教科】国：スピーチ単元 【その他】	【道徳】1-(6)(ノート)2-(1)(4)、4-(4) 【行事】 【特活】自己紹介、良いところ見付け 【総合】 【教科】国：スピーチ単元招待状や手紙を書く単元 【その他】	【道徳】1-(6)、2-(3)(4)(ノート) 【行事】 【特活】係・委員会活動(1)の内容での話し合い 【総合】生命に関する活動 【教科】保健：命 【その他】教育活動全般	【道徳】「個性尊重、寛容・謙虚」「感謝・思いやり」「礼儀」 【行事】オリエンテーション合宿 【学活】サンクスカードで感謝の言葉を伝える構成的グループ・エンカウンター 【総合】 【教科】 【その他】グループワークトレーニング	【行事】インターンシップ、体育大会・文化祭・球技大会・修学旅行、儀式的行事、全校集会 【LT】HR役員選出と任務の遂行、自分史の作成、進路希望調査、進路研究、クレバリン検査 【総合】外部講師講話 【教科】現代社会・倫理 【その他】ボランティア活動、職業適性検査、進路適性検査、科目選択・コース選択	
		【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力	【道徳】2-(1) 【行事】 【特活】朝・帰りの会でのスピーチ・適応指導 【生活】学校・町探検 【教科】国：話し合い単元 【その他】教育活動全般	【道徳】2-(3) 【行事】 【特活】(1)の内容での話し合い 【総合】地域の人とかわる活動 【教科】国：説明文や物語文単元で話し合い 【その他】教育活動全般	【道徳】2-(2)(ノート) 【行事】 【特活】異年齢活動、委員会、クラブ 【総合】福祉や国際理解 【教科】国：会話や話し方の単元 【その他】	【道徳】「集団生活の向上」 【行事】体育大会・文化祭合唱コンクールへの参加 【学活】構成的グループ・エンカウンター 【総合】福祉実践教室・ボランティア活動 【教科】国語科「言葉の探検発表会」 【その他】新入生を迎える会	【行事】インターンシップ、体育大会・文化祭・球技大会・修学旅行、儀式的行事、全校集会 【LT】学年集会 【総合】学校間交流会、体験発表会 【教科】オーラル・コミュニケーション 【その他】ボランティア活動、部活動	
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。	【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力	【道徳】 【行事】 【特活】 【生活】学校・町探検 【教科】 【その他】	【道徳】 【行事】 【特活】 【総合】 【教科】社：くらしに関する単元、社会見学 【その他】	【道徳】 【行事】修学旅行体験活動 【特活】 【総合】米づくり 【教科】社：産業単元 【その他】教育活動全般	【道徳】 【行事】職場体験学習 【学活】1年後のわたし 【総合】上級学校調べ 【教科】技術・家庭科「情報と私たちの生活」 【その他】	【行事】インターンシップ、職業体験、実習 【LT】進路ガイダンス・進路研究 【総合】卒業生講話・外部講師講話、体験入学・会社見学、職業と資格調べ 【教科】情報 【その他】求人情報・求人票の見方・履歴書の作成	
		【職業理解能力】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力	【道徳】 【行事】 【特活】係活動、給食・掃除当番、集会 【生活】 【教科】 【その他】	【道徳】4-(2)(ノート) 【行事】 【特活】係・当番の仕事 【総合】地域の人々とかかわる活動で 【教科】 【その他】	【道徳】4-(4)(ノート) 【行事】 【特活】働く人 【教科】社：施設等の見学 【その他】修学旅行での体験的な学習	【道徳】「勤労、社会奉仕、公共心」 【行事】職場体験学習の学習発表会 【学活】職場体験学習 【総合】なりたい職業調べ・社会人と語る会 【教科】社会「ハンバーガーショップの経営者になってみよう」 【その他】	【行事】インターンシップ 【LT】 【総合】外部講師講話、進路研究・進路探究レポート、ビジネスマナー講習 【教科】 【その他】	
将来設計能力	夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力	【道徳】1-(2)、4-(2)(ノート) 【行事】 【特活】係活動・登下校 【総合】 【教科】 【その他】教育活動全般	【道徳】4(3)(ノート) 【行事】 【特活】係活動・登下校 【総合】 【教科】 【その他】教育活動全般	【道徳】1-(3)(ノート) 【行事】運動会・学芸会 【特活】係・委員会活動 【総合】福祉活動 【教科】家：家庭生活と社会、社：公民単元 【その他】宿泊訓練	【道徳】「勤労、社会奉仕、公共心」 【行事】職場体験学習 【学活】学級組織づくりと係の仕事 【総合】なりたい職業調べ・社会人と語る会 【教科】社会「政府の仕事と租税」 【その他】	【行事】インターンシップ、体育大会、文化祭、球技大会、修学旅行、儀式的行事、全校集会 【LT】HR役員選出と任務の遂行、生徒主体の学級組織作り、進路希望調査 【総合】外部講師講話、職業人インタビュー・体験発表会 【教科】 【その他】	
		【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力	【道徳】4-(1)(ノート) 【行事】 【特活】学校のきまり・係のための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力 【教科】 【その他】教育活動全般	【道徳】1-(5)(ノート) 【行事】 【特活】学級集会 【総合】課題追究や調査 【教科】国：書初め、新聞 【その他】教育活動全般	【道徳】1-(5)、2-(5)(ノート) 【行事】 【特活】将来の夢 【総合】 【教科】 【その他】教育活動全般	【道徳】「目標の実現、希望と勇気、強い意志」 【行事】進路説明会 【学活】定期テストに向けての学習計画 【総合】人生夢プラン 【教科】 【その他】上級学校への体験入学	【行事】インターンシップ 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス・進路研究 【総合】職業人インタビュー・体験発表会 【教科】 【その他】体験入学、科目選択・コース選択	
意思決定能力	自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力	【道徳】1-(1)(3)(ノート) 【行事】 【特活】自己紹介、学校のきまり 【生活】 【教科】国：スピーチ単元 【その他】教育活動全般	【道徳】1-(1)(2)(4)、4-(1)(ノート) 【行事】 【特活】(2)の内容での話し合い、係活動 【総合】課題設定 【教科】 【その他】	【道徳】4-(1)(ノート) 【行事】 【特活】係・当番活動 【総合】 【教科】 【その他】宿泊訓練、アンケート	【道徳】「自立の精神・自主・誠実・責任」 【行事】進路説明会 【学活】職業適性検査 【総合】職場選びのハローワーク 【教科】選択教科の決定 【その他】	【行事】インターンシップ 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス 【総合】 【教科】 【その他】科目選択・コース選択、就職模擬試験、担任面談・保護者会	
		【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力	【道徳】1-(1)(ノート) 【行事】 【特活】係、目当て 【生活】栽培・生産活動 【教科】国：スピーチ単元 【その他】教育活動全般	【道徳】1(3) 【行事】 【特活】係活動、3・4年生になって 【総合】課題の追究 【教科】 【その他】	【道徳】1-(2)(6)(ノート) 【行事】 【特活】高学年になってこんな高学年に 【総合】 【教科】国：伝記 【その他】	【道徳】「目標の実現、希望と勇気、強い意志」 【行事】職場体験学習・修学旅行 【学活】トレーディングゲーム 【総合】上級学校調べ 【教科】社会「自然災害と人々の暮らし」 【その他】	【行事】インターンシップ、体育大会・文化祭・球技大会・修学旅行 【LT】 【総合】地域参画事業への参加(清掃奉仕活動等) 【教科】 【その他】資格検定試験の受検	

			小 学 校			中 学 校			高 等 学 校					
			低 学 年	中 学 年	高 学 年	現 実 的 探 索 と 暫 定 的 選 択 の 時 期			現 実 的 探 索 試 行 と 社 会 的 移 行 準 備 の 時 期					
職業的(進路)発達の段階			進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期						現実的探索と暫定的選択の時期			現実的探索 試行と社会的移行準備の時期		
職業的(進路)発達課題(小~高等学校段階)			<ul style="list-style-type: none"> 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成 						<ul style="list-style-type: none"> 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 進路計画の立案と暫定的選択 生き方や進路に関する現実的探索 			<ul style="list-style-type: none"> 自己理解の深化と自己受容 選択基準としての職業観・勤労観の確立 将来設計の立案と社会的移行の準備 進路の現実吟味と試行的参加 		
職業的(進路)発達にかかわる諸能力			職業的(進路)発達を促すための能力・態度を育成することが期待される具体的な教育活動											
領域	領域説明	能力説明	低 学 年			中 学 年			高 学 年					
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。	【自他の理解能力】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力	ア 自分の好きなことや嫌いなことをはっきり言う。 【特活】 1年 自己紹介をしよう 友達と仲良くしよう 2年 2年生になって 【国語】 話すこと・聞くこと 1年「はなしたいな ききたいな」 2年「教えてあげる、たからもの」	ア 自分の良いところを見付ける 【道徳】そっと自分に聞いてみよう かがやく自分になろう 《心のノートP12~15》 【特活】自己紹介 【国語】 話すこと・聞くこと 3年「知ってほしいな、自分のこと」 書くこと 4年「自分新聞を作ろう」	ア 自分の長所や欠点に気が付き、自分らしさを発揮する。 【道徳】1-(6)自分の特徴を知って、短所を改め、長所を伸ばす 《心のノートP30~33》 【総合】生命学習(生命って素晴らしい) 自分発見・友達発見(〇〇名人・博士)	ア 自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重する。 【道徳】「個性尊重、寛容・謙虚」「感謝・思いやり」 【行事】クレペリン検査 【行事】オリエンテーション合宿 【学活】自分の長所と短所 【学活】私たちの心と体 【学活】SGE「わたって、何色」 【学活】サンクスカード (学年の最後や行事の終了時に、感謝の言葉をカードで伝える) SGE = 構成的グループ・エンカウンター	ア 自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。 【行事】インターンシップ 学校祭、クラスマッチ、体育祭、文化祭、修学旅行等(積極的な参加) 体験入社(配置された職場における自己の経験、友人の経験などを通して、職種ごとに必要な能力や適性を考える) バザー企画(商品決定、仕入れ、値入れ、商品知識、ポップ作成等、販売、会計処理などの経験を通して、役割ごとに必要な能力や適性を考える) 【LT】進路適性検査、進路希望調査 職業適性検査等(自己の職業的な能力を知る) 【総合】社会人講師講話、外部講師講話 【その他】「産業社会と人間」(自己発見にて自分の性格や能力、進路適性検査、進路適性テストにおける適性シートを読み、職業への自己適性の判断とする) 機械系、電気(電子)系の実習、総合実習、意見発表会 系列選択指導および総合選択指導 部活動への積極的な参加							
		イ 友達と仲良く遊び、助け合う。 【道徳】2-(3)友達と仲良くし、助け合う 《心のノートP40~43》 【特活】2年生になって 【生活】1年生になったよ(みんななかよし)	イ 友達の良いところを認め、励まし合う。 【道徳】 《心のノートP45》 【特活】帰りの会での「友達の良いところ見付け」	イ 話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。 【道徳】2-(4)謙虚な気持ちをもち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切に 《心のノートP48~51》 【特活】学級会(日常生活の諸問題の解決を図る話し合い)	イ 自分の言動が相手や他者に及ぼす影響が分かる。 【道徳】「感謝・思いやり」「礼儀」 【学活】人権について考えよう 【学活】学級の諸問題 【学活】励まし合う学級生活 【学活】男女交際の在り方 【学活】SGE「ねずみや怪獣でない私」	イ 他者の価値観や個性のユニークさを理解し、それを受け入れる。 【行事】学校祭、クラスマッチ、体育祭、文化祭、修学旅行等(積極的な参加) 【LT】年度当初のLTでの自己紹介 【総合】社会人講師、体験(報告)発表、プレゼンテーション学習 【その他】「産業社会と人間」ワークシート(自己分析表、自分てなんだらう、を通して自己の性格分析や他人から見た自分を理解していく) 課題研究(発表)、意見発表会、総合実習、現場見学会 各種競技大会への参加(より専門的知識や工学に対する意識の高揚を図る) 部活動への積極的な参加								
		ウ お世話になった人などに感謝し親切にする。 【道徳】2-(4)日ごろお世話になっている人々に感謝する 《心のノートP44~47》 【特活】 1年 6年生におれいをしよう 【生活】 1年 大すきだよ(家族) 2年 おれいの手紙を書こう みんな大きくなったよね(お礼の気持ちを)	ウ 自分の生活を支えている人に感謝する。 【道徳】2-(1)礼儀の大切さを知り、だれに対しても責任をもって接する 2-(4)生活を支えている人々や高齢者に尊敬と感謝の気持ちをもつ 4-(4)先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって楽しい学校を創る 【国語】 書くこと 3年「しょうたいじょうを書こう」 4年「お礼の手紙を書こう」	ウ 自分の悩みを話せる人を持つ。 【行事】教育相談・進路相談 (学期に一回実施。生徒の希望により随時相談) 【学活】良い友人関係 【学活】悩みの相談 【学活】男女の協力 【学活】SGE「ABCで課題解決」	ウ 互いに支え合い分かり合える友人を得る。 【行事】学校祭、クラスマッチ、体育祭、文化祭、修学旅行等(積極的な参加) 【LT】オリエンテーション指導やHR活動(行事における班行動) 【その他】部活動 各種ボランティア活動 実習中における共同作業、共同実習所における実習									

		小学校			中学校	高等学校				
		低学年	中学年	高学年						
職業的(進路)発達段階		進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期	現実的探索 試行と社会的移行準備の時期				
職業的(進路)発達課題(小~高等学校段階) 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面からとらえたもの。		<ul style="list-style-type: none"> 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成 			<ul style="list-style-type: none"> 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 進路計画の立案と暫定的選択 生き方や進路に関する現実的探索 	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解の深化と自己受容 選択基準としての職業観・勤労観の確立 将来設計の立案と社会的移行の準備 進路の現実吟味と試行的参加 				
職業的(進路)発達にかかわる諸能力		職業的(進路)発達を促すための能力・態度を育成することが期待される具体的な教育活動								
領域	領域説明	能力説明								
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。	【コミュニケーション能力】 コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力	エ あいさつや返事をする。	エ 自分の意見や気持ちを分かりやすく表現する。	ウ 思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動しようとする。	エ 他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。	エ 自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意志等を的確に理解する。			
		【道徳】2-(1)気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する 《心のノート P32~35》	【国語】 話すこと・聞くこと 1年「はきはきあいさつ」	【生活】 1年 学校探検 2年 レッツゴー!町探検	【特活】朝の会、帰りの会でのスピーチ 学級会等での話し合い活動	【国語】 話すこと・聞くこと 3年「出来事を伝えよう」 4年「電話で伝え合おう」 書くこと 3年「わたしの研究レポートを書こう」 4年「自分新聞を作ろう」	【道徳】2-(2)だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする 《心のノート P40~43》	【国語】 話すこと・聞くこと 6年「気持ちのよい話し方をしよう」	【総合】福祉体験教室 【生徒会】あいさつ運動 【委員会】保育園ボランティア 【道徳】「集団生活の向上」 【行事】オリエンテーション合宿 【学活】奉仕活動への参加 【学活】学級レクリエーション 【学活】よりよい学級生活に向けて 【学活】S G E「ブラインドゲート」 【学活】トレーディングゲーム S G E = 構成的グループ・エンカウンター	【行事】学校祭、クラスマッチ、体育祭、文化祭、修学旅行等(積極的な参加)、商業科発表会 【L T】ホームルームでの話し合いや企画運営 【総合】総合的な学習の時間における成果発表会、課題研究、意見発表会、外部講師講話(講話に対する感想文) 【その他】指導時などにおける、他との関わりや対応、言動 生徒会役員選挙活動 就職ガイダンス、グループワーク 読書感想文(1年生:全員、2・3年生:希望者) 学年一斉集団読書 実習中における共同作業 実習授業における少人数授業
		オ 「ありがとう」や「ごめんなさい」を言う。	オ 友達の気持ちや考えを理解しようとする。	エ 異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。	オ 人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。	オ 異年齢の人や異性等、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る。				
		【特活】適応指導の内容で 【国語】 話すこと・聞くこと 1年「はきはきあいさつ」	【道徳】2-(3)友達と互いに理解し、信頼し、助け合う 【特活】学級会 【国語】 話すこと・聞くこと 3年「わたしのお気に入りの場所」 「もうどう犬の訓練」 「どっちが好き」 4年「くらしの百科の時間で」 「くらしの中の和と洋」 【その他】教育活動全般にわたって	【特活】委員会活動 クラブ活動 たてわり活動 小中連携による活動 運動会や学芸会などの学校行事	【学活】S G E「さいころトーク」 【学活】トレーディングゲーム 【学活】男女の協力・男女交際のあり方 【学活】良い友人関係 【総合】福祉体験教室 【生徒会】あいさつ運動 【委員会】保育園ボランティア 【行事】オリエンテーション合宿 【国語】「言葉の学習」「言葉の探検発表会」 【英語】「A L Tとの会話」 【社会】人権と共存社会 【道徳】「集団生活の向上」	【行事】学校祭、クラスマッチ、体育祭、文化祭、修学旅行等(積極的な参加)、体験入社、職場見学会、バザー企画、パソコン塾、高齢者パソコン教室、福祉実践教室、学校間交流 【L T】レクリエーション活動による人間関係づくり 【総合】「総合的な学習の時間」 【その他】「産業社会と人間」(自己挑戦にて講演、社会人講話、見学会の計画と実践) 農業クラブ活動における作業 サマーキャンプ、イモ掘り体験 キャリアサポートの活用(中央職業能力開発協会高度熟練技能者)、熟練工による技能教育及び匠として必要な人間像部活動への積極的な参加 ボランティア活動への積極的な参加 【教科】「発達と保育」での保育実習(「高齢者と生きる」の単元の中で高齢者とのかかわりを学ぶ)				
カ 自分の考えをみんなの前で話す。	カ 友達と協力して、学習や活動に取り組む。	カ リーダーとフォロアーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。	カ リーダー・フォロアーシップを発揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める。							
【特活】自己紹介をしよう 学級会 【国語】 話すこと・聞くこと 1年「はなしたいな ききたいな」 「きいてきて」 「みんなに知らせよう」 2年「教えてあげる、たからもの」 「まよい犬をさがせ」 「おもちゃまつりへようこそ」 「せかいのかくれんぼ」 【各教科】意見発表	教育活動全般にわたって特に、体験的な活動	【学活】S G E「ウルトラダービー」 【学活】トレーディングゲーム 【学活】学級目標の決定 【行事】学校祭・合唱コンクールなど 【行事】オリエンテーション合宿 【道徳】「集団生活の向上」	【行事】学校祭、クラスマッチ、体育祭、文化祭、修学旅行等(積極的な参加と運営)、体験入社、職場見学会、バザー企画、パソコン塾、高齢者パソコン教室、福祉実践教室、学校間交流 農業クラブ活動における作業、総合実習 【総合】「総合的な学習の時間」における成果発表会、「課題研究」 【その他】部活動への積極的な参加、リーダー講習会 各種委員会の定期的(適時)開催や活性化							
		キ 新しい環境や人間関係に適應する。	キ 新しい環境や人間関係を生かす。							
		【生徒会】新入生を迎える会 【道徳】「集団生活の向上」 【道徳】「人間性への信頼、生きがい」 【行事】オリエンテーション合宿 【学活】学級の諸問題 【学活】学級開き 【学活】男女の協力と理解 【学活】S G E「担任クイズ ミリオネア」	【行事】インターンシップ、学校祭、クラスマッチ、体育祭、文化祭、修学旅行等(積極的な参加と運営)、体験入社、職場見学会、バザー企画、パソコン塾、高齢者パソコン教室、福祉実践教室、学校間交流 【L T】オリエンテーション指導におけるグループワークや校歌練習 【総合】「総合的な学習の時間」 【その他】ボランティア活動への積極的な参加 部活動への積極的な参加、現場実習、総合実習、農業クラブ活動における作業、共同実習所における実習(3泊4日)							

職業的(進路)発達にわたる段階			小 学 校			中 学 校	高 等 学 校
			低 学 年	中 学 年	高 学 年		
職業的(進路)発達課題(小~高等学校段階)			進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期	現実的探索 試行と社会的移行準備の時期
職業的(進路)発達課題(小~高等学校段階) 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面からとらえたもの。			・自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ・身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 ・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 ・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成			・肯定的自己理解と自己有用感の獲得 ・興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 ・進路計画の立案と暫定的選択 ・生き方や進路に関する現実的探索	・自己理解の深化と自己受容 ・選択基準としての職業観・勤労観の確立 ・将来設計の立案と社会的移行の準備 ・進路の現実吟味と試行的参加
職業的(進路)発達にかかわる諸能力			職業的(進路)発達を促すための能力・態度を育成することが期待される具体的な教育活動				
領域	領域説明	能力説明					
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。	【情報収集 探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力	キ 身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心をもつ。	キ いろいろな職業や生き方があることが分かる。	オ 身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。	ク 産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。	ク 卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する。
			【生活】 1年「学校探検」「家族の内容に関する活動」 2年「校区探検」に関する活動	【社会】 3年「人々の仕事とわたしたちの暮らし」「くらしをまもる」 4年「住みよいくらしをつくる」	【社会】 5年「私たちの生活と食料生産」「私たちの生活と工業生産」「私たちの生活と情報」 【行事】修学旅行での体験活動など	【学活】トレーディングゲーム 【総合】なりたい職業調べ 【総合】福祉体験教室 【総合】せともの探検隊 【総合】瀬戸マイドリーム 【社会】公民的分野 第3編「私たちの生活と経済」 特に「男女共同参画社会」「生活を支える労働」「働く人たちの生活向上」「日本経済の発展」など 【行事】職場体験学習	【総合】企業研究、職場見学会、職場体験 社会人(外部講師)講話、進路課題研究(職業人インタビュー等) 【その他】「産業社会と人間」、職業と資格調べ、科目選択、求人票の見方、卒業生との懇談会等 アルバイト希望者に対する許可条件(職種選択指導) 進学相談会(進路希望の確認と情報収集) 現場実習
			ク 分からないことを、図鑑などで調べたり、質問したりする。	カ 自分に必要な情報を探す。	ケ 上級学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学歴の概略が分かる。	ケ 就職後の学習の機会や上級学校卒業時の就職等に関する情報を探索する。	
			【総合】インタビューなどの活動	【社会】【総合】を中心とした「調べ学習」	【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【総合】「1年後のわたし」 【行事】進路説明会 【行事】高校体験入学 【行事】卒業生と語る会 【学活】先輩の進路	【総合】学校見学会、体験入学、会社見学、外部講師講話 【L T】進路ガイダンス、職業と資格調べ、科目選択、求人票の見方、卒業生との懇談会等	
			キ 気付いたこと、分かったことや個人・グループでまとめたことを発表する	コ 生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。	コ 職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続き・方法などが分かる。		
			総合や社会を中心とした「調べ学習」の発表場面	【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【総合】福祉体験教室 【総合】せともの探検隊 【総合】瀬戸マイドリーム 【総合】「1年後のわたし」 【行事】進路説明会 【行事】職場体験学習 【技術・家庭科】「情報とわたしたちの生活」	【行事】体験入社、パソコン塾(運営や企画立案) 【総合】社会人(外部講師)講話、企業研究、卒業生との懇談会 【その他】「産業社会と人間」、職業と資格調べ、科目選択、求人票の見方、卒業生との懇談会等 現場実習、総合実習		
				サ 必要に応じ、獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	サ 調べたことなどを自分の考えを交え、各種メディアを通して発表・発信する。		
				【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【総合】せともの探検隊 【総合】瀬戸マイドリーム 【総合】「1年後のわたし」「人生夢プラン」「卒業研究」 【行事】職場体験学習 【行事】職場体験学習発表会 【技術・家庭科】「情報とわたしたちの生活」	【行事】商業科発表会、パソコン塾等 P R 活動 【総合】体験入学報告書発表、職場見学会、職場体験発表 【その他】「産業社会と人間」、職業と資格調べ、課題作文、修学旅行事前学習、産業調査学習等		

			小学校			中学校	高等学校	
			低学年	中学年	高学年			
職業的(進路)発達段階			進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期	現実的探索 試行と社会的移行準備の時期	
職業的(進路)発達課題(小~高等学校段階) 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面からとらえたもの。			<ul style="list-style-type: none"> 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成 			<ul style="list-style-type: none"> 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 進路計画の立案と暫定的選択 生き方や進路に関する現実的探索 	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解の深化と自己受容 選択基準としての職業観・勤労観の確立 将来設計の立案と社会的移行の準備 進路の現実吟味と試行的参加 	
職業的(進路)発達にかかわる諸能力			職業的(進路)発達を促すための能力・態度を育成することが期待される具体的な教育活動					
領域	領域説明	能力説明						
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。	【職業理解能力】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力	ク 係や当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。	ケ 係や当番活動に積極的にかわる。	ク 施設・職場見学等を通し、働くことの大切さや苦勞が分かる。	シ 将来の職業生活と関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。	シ 就業等の社会参加や上級学校での学習等に関する探索的・試行的な体験に取り組む。	
			【特活】係活動 掃除・給食当番の活動	【特活】係活動 掃除・給食などの当番活動 日直の仕事 学級集会活動での役割分担など	【総合】校区調べや福祉施設などの見学 【社会】 5年「自動車工場の見学」 「新聞社・放送局の見学」	【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【総合】瀬戸マイドリーム 【総合】「1年後のわたし」 【道徳】「勤労・社会奉仕・公共心」 【道徳】「向上心・個性の伸長」 【行事】進路説明会 【行事】立志体験	【総合】模擬授業体験、体験入学 【行事】インターンシップ 【その他】「産業社会と人間」、職業と資格調べ、入試科目調査、入試対策 体験入学 職場見学会、職場体験	
			コ 働くことの楽しさが分かる。	ケ 学んだり体験したりしたことと、生活や職業との関連を考える。	ス 体験等を通して、勤勞の意義や働く人々の様々な思いが分かる。	ス 社会規範やマナー等の必要性や意義を体験を通して理解し習得する。		
			【道徳】4-(2)働くことの大切さを知り、進んで働く 【特活】係の仕事、掃除・給食当番の仕事 【総合】様々な職業の人たちとかわる活動 「校区の名人探し」 「校区の自慢探し」など	【道徳】4-(4)働くことの意味を理解し、社会に奉仕する喜びを知って、公私のために役立つことをする。 《心のノートP84~87》 【総合】活動全般にわたって 【行事】修学旅行での体験学習	【総合】なりたい職業調べ 【総合】福祉体験教室 【総合】「社会人と語る会」 【学活】働く意義 【道徳】「勤労、社会奉仕、公共心」 【社会】ハンバーガーショップの経営者になってみよう 【委員会】保育園ボランティア 【行事】職場体験学習 【行事】ボランティア活動・勤勞体験	【行事】インターンシップ、体験入社 儀式的行事(入学式、始業式、終業式、卒業式等) 福祉実践教室、学校間交流 【その他】身だしなみ指導及び事後指導、あいさつ運動 模擬面接指導 接遇マナー講話、交通講話、薬物乱用防止講話等 職場見学、職場体験 現場実習 各種ボランティア活動 部活動への積極的参加		
		セ 係・委員会活動や職場体験等で得たことを、以後の学習や選択に生かす。	セ 多様な職業観・勤勞観を理解し、職業・勤勞に対する理解・認識を深める。					
		【総合】なりたい職業調べ 【総合】福祉教室 【総合】瀬戸マイドリーム 【総合】「1年後のわたし」・「人生夢プラン」 「卒業研究」などのプレゼンテーションやまとめ 【委員会】各委員会活動の反省 【委員会】保育園ボランティア 【生徒会】あいさつ運動 【行事】職場体験学習	【行事】インターンシップ、体験入社、学校間交流 【総合】社会人(外部講師)講話 職業人インタビュー 【その他】職場見学、職場体験、現場実習 各種ボランティア活動 部活動への積極的参加					

			小 学 校			中 学 校	高 等 学 校
			低 学 年	中 学 年	高 学 年		
職業的(進路)発達段階			進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期	現実的探索 試行と社会的移行準備の時期
職業的(進路)発達課題(小~高等学校段階) 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面からとらえたもの。			・自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ・身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 ・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 ・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成			・肯定的自己理解と自己有用感の獲得 ・興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 ・進路計画の立案と暫定的選択 ・生き方や進路に関する現実的探索	・自己理解の深化と自己受容 ・選択基準としての職業観・勤労観の確立 ・将来設計の立案と社会的移行の準備 ・進路の現実吟味と試行的参加
職業的(進路)発達にかかわる諸能力			職業的(進路)発達を促すための能力・態度を育成することが期待される具体的な教育活動				
領域	領域説明	能力説明					
将来設計能力	夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	【役割把握 認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力	コ 家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性が分かる。 【道徳】4-(2)父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いをして、家族の役に立つ喜びを知る 《心のノートP72~75》 1-(2) 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う 《心のノートP18~21》 【特活】係活動 掃除・給食当番 【生活】「家庭の仕事」に関する活動	サ 互いの役割や役割分担の必要性が分かる。 【道徳】4-(3)父母祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる 《心のノート》 【特活】係活動 掃除・給食当番 530(ごみゼロ)運動	コ 社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 【道徳】1-(3)自由を大切にし、規律ある行動をする 《心のノートP18~21》 【特活】係活動 委員会活動 【総合】福祉的な活動 【家庭】 「楽しいひと時」 「近隣の人々との生活を考える」 「これからの社会と家庭生活」	ソ 自分の役割やその進め方、よりよい集団活動のための役割分担やその方法等が分かる。 【学活】SGE「ほくしのごと・わたしのしごと」 【学活】トレーディングゲーム 【生徒会】あいさつ運動 【生徒会】新入生を迎える会 【学活】学級三役・学級の係・委員会決め 【道徳】西三河救援隊(勤労・社会奉仕・公共心) SGE=構成的グループ・エンカウンター	ソ 学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす。 【行事】学校祭、クラスマッチ、体育祭、文化祭、修学旅行(積極的な参加、役割遂行) 体験入社、パソコン塾(運営と企画)、学校間交流 【その他】HR役員(選出と任務の遂行、クラス役員、係の仕事) 清掃活動、美化活動 各種ボランティア活動 部活動への積極参加 職場見学会、職場体験
			シ 日常生活や学習と将来の生き方との関連に気付く。 様々な体験活動を通して	サ 日常生活や学習と将来の生き方との関連に気付く。 【家庭】「わたしたちと家庭生活」	タ 日常生活や学習の生き方との関係を理解する。 【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【総合】福祉教室 【総合】瀬戸マイドリーム 【生徒会】あいさつ運動 【委員会】保育園ボランティア 【行事】進路説明会 【学活】学級の諸問題を話し合う 【学活】トレーディングゲーム 【学活】2年生になって 【学活】最上級生になっての決意 【学活】新年の目標、望ましい学習態度 【道徳】「真実愛・真実の追求・理想の実現」	タ ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する。 【行事】インターンシップ、学校祭、クラスマッチ、体育祭、文化祭、修学旅行等(積極的な参加と運営)、体験入社、職場見学会、バザー企画、パソコン塾、高齢者パソコン教室、福祉実践教室、学校間交流 【LT】進路ガイダンス、進路研究 【総合】社会人(外部講師)講話 職業人インタビュー、体験発表会 【その他】消費者セミナー講話 各種ボランティア活動	
					チ 様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。 【学活】トレーディングゲーム 【学活】進路の選び方 【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【総合】福祉教室 【総合】瀬戸マイドリーム 【総合】社会人と語る会 【総合】「1年後のわたし」・「人生夢プラン」・「卒業研究」 【委員会】保育園ボランティア 【行事】職場体験学習 【社会】公民的分野 (学習内容のまとめとしてのレポート作りなど) 【社会】政府の仕事と租税 【道徳】「勤労・社会奉仕・公共心」	チ 将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する。 【行事】インターンシップ、現場実習 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 【総合】ワークシート作成 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成(職業調べ、なるには調べ、ライフプラン作成、オンリーワン時間割の作成等)	

			小学校			中学校	高等学校
			低学年	中学年	高学年		
職業的【進路】発達の段階			進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期	現実的探索 試行と社会的移行準備の時期
職業的【進路】発達課題【小～高等学校段階】 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面からとらえたもの。			・自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ・身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 ・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 ・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成			・肯定的自己理解と自己有用感の獲得 ・興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 ・進路計画の立案と暫定的選択 ・生き方や進路に関する現実的探索	・自己理解の深化と自己受容 ・選択基準としての職業観・勤労観の確立 ・将来設計の立案と社会的移行の準備 ・進路の現実吟味と試行的参加
職業的【進路】発達にかかわる諸能力			職業的【進路】発達を促すための能力・態度を育成することが期待される具体的な教育活動				
領域	領域説明	能力説明					
将来設計能力	夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力	サ 作業の準備や片付けをする。 【特活】学級・学年集会での役割分担係活動 掃除・給食当番 【生活】 1年「水・土・砂の遊び」に関する活動 「栽培・収穫」に関する活動 「飼育」に関する活動 「昔からの遊び」に関する活動 2年「おもちゃ作り」に関する活動 教育活動全般にわたって	ス 将来の夢や希望をもつ、 【道徳】1 - (5)正直に明るい心で元よく生活する。	シ 将来のことを考える大切さが分かる。 【道徳】1 - (5)真理を大切にしながら進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。	ツ 将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。 【学活】SGE『『でっかい夢』と『身近な夢』』 【学活】トレーディングゲーム 【学活】将来の希望 【学活】進路の選び方 【学活】将来の生活設計 【総合】なりたい職業調べ 【総合】福祉教室 【総合】せともの探検隊 【総合】瀬戸マイドリーム 【総合】社会人と語る会 【委員会】保育園ボランティア 【行事】進路説明会 【行事】職場体験学習 SGE = 構成的グループ・エンカウンター	テ 生きがい・やりがいがあり自己を生かせる生き方や進路を現実的に考える。 【行事】インターンシップ 【総合】社会人（外部講師）講話、卒業生講話 職業人インタビュー、体験発表会 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成（職業調べ、なるには調べ、ライフプラン作成、オンリーワン時間割の作成等） 各種ボランティア活動 総合実習（作物収穫） 体験入学、科目選択・コース選択 【教科】「現代社会」、「倫理」等
			シ 決められた時間や決まりを守るうとする。 【道徳】4 - (4)みんなが使うものを大切に、約束やきまりを守る 《心のノートP68～71》 【特活】学校のきまり	セ 計画作りの必要性に気付く、作業の手順が分かる。 【特活】学級・学年集会活動の計画 【総合】それぞれの活動場面において（特に栽培活動においては畝作り、種まき、水遣り、草取りなどの計画が大切になる）	ス 憧れとする職業をもち、今しなければならぬことを考える。 【道徳】2 - (5)日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。 《心のノートP52～55》 【総合】特に栽培活動においては畝作り、種まき、水遣り、草取りなどの計画が大切になる。	テ 進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する。 【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【総合】瀬戸マイドリーム 【学活】進路ナビ 【学活】職業適性検査 【学活】3年生の生活設計	テ 職業について総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する。 【行事】インターンシップ 【総合】社会人（外部講師）講話、卒業生講話 職業人インタビュー、体験発表会 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成（職業調べ、なるには調べ、ライフプラン作成、オンリーワン時間割の作成等） 各種ボランティア活動 体験入学、科目選択・コース選択
				ソ 学習等の計画を立てる。 教育活動全般にわたって	ト 将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。 【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【学活】定期テストに向けての勉強の仕方・学習計画 【道徳】「目標の実現、希望と勇気、強い意志」	ト 将来設計、進路計画の見直しの再検討を行い、その実現に取り組む。 【行事】インターンシップ 【総合】社会人（外部講師）講話、卒業生講話 職業人インタビュー、体験発表会 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 進路適性検査（職業適性、学問適性の理解） 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成（職業調べ、なるには調べ、ライフプラン作成、オンリーワン時間割の作成等） 各種ボランティア活動 体験入学、科目選択・コース選択	

			小 学 校			中 学 校			高 等 学 校		
			低 学 年	中 学 年	高 学 年	現 実 的 探 索 と 暫 定 的 選 択 の 時 期			現 実 的 探 索 試 行 と 社 会 的 移 行 準 備 の 時 期		
職業的【進路】発達に 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面からとらえたもの。			進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期 ・自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ・身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 ・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 ・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成			現実的探索と暫定的選択の時期 ・肯定的自己理解と自己有用感の獲得 ・興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 ・進路計画の立案と暫定的選択 ・生き方や進路に関する現実的探索			現実的探索 試行と社会的移行準備の時期 ・自己理解の深化と自己受容 ・選択基準としての職業観・勤労観の確立 ・将来設計の立案と社会的移行の準備 ・進路の現実吟味と試行的参加		
職業的【進路】発達にかかわる諸能力			職業的【進路】発達を促すための能力・態度を育成することが期待される具体的な教育活動								
領域	領域説明	能力説明									
意思決定能力	自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力	ス 自分の好きなもの、大切なものをもつ。	タ 自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。	セ 係活動などで自分のやりたい係、やれそうな係を選ぶ。	ナ 自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。	ネ 選択の基準となる自分なりの価値観、職業観・勤労観をもつ。	【行事】インターンシップ 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 進路適性検査（職業適性、学問適性の理解） 【総合】社会人（外部講師）講話、卒業生講話 職業人インタビュー、体験発表会 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成（職業調べ、なるには調べ、等） 身だしなみ指導及び事後指導、あいさつ運動 模擬面接指導、就職模擬試験（就職指導全般） 担任面談、保護者会 職場見学、職場体験、意見発表会 現場実習、共同実習所における実習 各種ボランティア活動			
			【特活】自己紹介をしよう 【国語】話すこと・聞くこと 1年「はなしたいな ききたいな」 2年「教えてあげる、たからもの」	【特活】係活動 掃除・給食当番活動 学級をよりよくするための活動へ 【総合】課題設定の場面 自分にとって必要な課題を設定する。 【各教科】調べ学習の場面で	【道徳】4 - (1)身近な集団に進んで参加し、自分の果たす役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。 《心のノートP72～75》 【特活】係活動 学級会 学級・学年集会	【学活】トレーディングゲーム 【学活】進路ナビ 【学活】職業適性検査 【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【総合】福祉教室 【総合】瀬戸マイドリーム 【委員会】保育園ボランティア 【行事】進路説明会	【行事】インターンシップ 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 進路適性検査（職業適性、学問適性の理解） 【総合】社会人（外部講師）講話、卒業生講話 職業人インタビュー、体験発表会 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成（職業調べ、なるには調べ、等） 身だしなみ指導及び事後指導、あいさつ運動 模擬面接指導、就職模擬試験（就職指導全般） 担任面談、保護者会 職場見学、職場体験、意見発表会 現場実習、共同実習所における実習 各種ボランティア活動				
			セ 学校でしてよいことと悪いことがあることが分かる。	チ してはいけないことが分かり、自制する。	ソ 教師や保護者に自分の悩みや葛藤を話す。	ニ 選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。	二 多様な選択肢の中から、自己の意志と責任で当面の進路や学習を主体的に選択する。				
			【道徳】1 - (3)よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行う。 《心のノートP22～25》 1 - (1)健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。 《心のノートP14～17》 【特活】学校のきまり 規則正しい生活	【道徳】4 - (1)約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。 1 - (2)よく考えた行動をし、あやまちは素直に改める。 1 - (4)正しいと思うことは勇気をもって行う。 【特活】自転車教室	すべての教育活動にわたって	【学活】トレーディングゲーム 【学活】進路の選び方 【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【道徳】「自律の精神、自主、誠実、責任」	【行事】インターンシップ 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 進路適性検査（職業適性、学問適性の理解） 【総合】社会人（外部講師）講話、卒業生講話 職業人インタビュー、体験発表会 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成（職業調べ、なるには調べ、ライフプラン作成、オンリーワン時間割の作成等） 資格取得試験、校外模試 模擬面接指導、就職模擬試験（就職指導全般） 担任面談、保護者会 職場見学、職場体験、意見発表会 現場実習、共同実習所における実習 各種ボランティア活動				
			又 教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる。	又 進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性について検討する。							
			【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【行事】進路説明会 【学活】進路の相談	【行事】インターンシップ 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 進路適性検査（職業適性、学問適性の理解） 【総合】社会人（外部講師）講話、卒業生講話 職業人インタビュー、体験発表会 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成（職業調べ、なるには調べ、ライフプラン作成、オンリーワン時間割の作成等） 体験入学、科目選択・コース選択、校外模試 資格取得試験 模擬面接指導、就職模擬試験（就職指導全般） 担任面談、保護者会 職場見学、職場体験、意見発表会 現場実習、共同実習所における実習 各種ボランティア活動							

職業的【進路】発達の段階			小学校			中学校			高等学校									
			低学年	中学年	高学年	現実的探索と暫定的選択の時期			現実的探索 試行と社会的移行準備の時期									
職業的【進路】発達課題【小～高等学校段階】 各発達段階において達成しておくべき課題を、進路・職業の選択能力及び将来の職業人として必要な資質の形成という側面からとらえたもの。			進路の探索 選択にかかる基盤形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期			現実的探索 試行と社会的移行準備の時期									
			<ul style="list-style-type: none"> 自己及び他者への積極的関心の形成・発展 身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成 			<ul style="list-style-type: none"> 肯定的自己理解と自己有用感の獲得 興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成 進路計画の立案と暫定的選択 生き方や進路に関する現実的探索 			<ul style="list-style-type: none"> 自己理解の深化と自己受容 選択基準としての職業観・勤労観の確立 将来設計の立案と社会的移行の準備 進路の現実吟味と試行的参加 									
職業的【進路】発達にかかわる諸能力			職業的【進路】発達を促すための能力・態度を育成することが期待される具体的な教育活動															
領域	領域説明	能力説明	ソ 自分のことは自分で行おうとする。			ツ 自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。			タ 生活や学習上の課題を見付け、自分の力で解決しようとする。			ネ 学習や進路選択の過程を振り返り、次の選択場面に生かす。			ネ 選択結果を受容し、決定に伴う責任を果たす。			
意思決定能力	自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力	【道徳】1-(1)健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。 【特活】学期の目当てを決めよう。 【生活】 1年「家での仕事」に関する活動 「成長を振り返る」活動 2年「成長を振り返る」活動	【道徳】1-(3)自分でやろうと決めたことはねばり強くやり遂げる。 【特活】3・4年生になって係活動、当番活動 【総合】課題設定の場面で	【特活】5・6年生になって 【総合】課題設定の場面で	【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【生徒会】新入生を迎える会 【行事】進路説明会 【学活】教育相談・進路相談 【学活】学習についての反省と改善	【行事】インターンシップ 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 進路適性検査（職業適性、学問適性の理解） 【総合】社会人（外部講師）講話、卒業生講話 職業人インタビュー、体験発表会 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成（職業調べ、なるには調べ、ライフプラン作成、オンリーワン時間割の作成等） 身だしなみ指導及び事後指導 体験入学、科目選択・コース選択、校外模試 資格取得試験 模擬面接指導、就職模擬試験（就職指導全般） 担任面談、保護者会 職場見学、職場体験、意見発表会 総合実習、現場実習、共同実習所における実習 課題研究、各種ボランティア活動、部活動	テ 自分の力で課題を解決しようとする。	チ 将来の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする。	リ よりよい生活や学習・進路や生き方等を目指して自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。	リ 将来設計、進路希望の実現を目指して、課題を設定し、その解決に取り組む。	【総合】課題追究の場面で 教育活動全般にわたって	【道徳】1-(2)より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。 《心のノートP14～17》 【特活】こんな6年生（中学生）になりたい	【学活】トレーディングゲーム 【学活】夏休みの計画 【学活】効果的な家庭学習 【学活】進路の選び方 【総合】上級学校調べ 【総合】なりたい職業調べ 【行事】進路説明会 【行事】修学旅行 【道徳】「望ましい生活習慣」「向上心、個性の伸長」 【道徳】「真理愛、真実の追究、理想の実現」 【社会】自然災害と人々の暮らし 【社会】暮らしの変化と進め国際化	【行事】インターンシップ 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 進路適性検査（職業適性、学問適性の理解） 【総合】社会人（外部講師）講話、卒業生講話 職業人インタビュー、体験発表会 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成（職業調べ、なるには調べ、ライフプラン作成、オンリーワン時間割の作成等） 体験入学、科目選択・コース選択、校外模試 資格取得試験、言語能力、非言語能力育成 模擬面接指導、就職模擬試験（就職指導全般） 担任面談、保護者会 職場見学、職場体験、意見発表会 総合実習、現場実習、共同実習所における実習 課題研究、各種ボランティア活動、部活動	ハ 課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。 【学活】S G E「100人が幸せな生活を送るには？」 【学活】トレーディングゲーム 【学活】学級の諸問題 【学活】家庭学習の悩み S G E = 構成的グループ・エンカウンター	ハ 自分を生かし役割を果たしていく上での様々な課題とその解決策について検討する。 【行事】インターンシップ 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 進路適性検査（職業適性、学問適性の理解） 【総合】ワークシート作成 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成 模擬面接指導、資格取得試験	ヒ 理想と現実との葛藤経験等を通し、様々な困難を克服するスキルを身に付ける。 【行事】インターンシップ 【LT】進路希望調査、進路ガイダンス、進路研究 進路適性検査（職業適性、学問適性の理解） 【総合】ワークシート作成 【その他】「産業社会と人間」のワークシート作成 定期テストの記録と反省、対策、資格取得試験 担任面談、保護者会

【実践事例1】小学校における取組

発掘！西尾の町職人 - 見つけよう！キラリ輝く心と技 -

西尾市立西尾小学校

1 はじめに

子供たちが働くことについて夢や希望をもつきっかけになるのは「カッコいいな、こんな大人になりたいな」と思える人物、「こんなことやってみたいな」と思える出来事との出会いではないだろうか。

小学校でのキャリア教育は全教育活動を通して機能させることが可能である。日々の取組をキャリア教育の視点からとらえ直してみると、それは決して特別な活動ではなく、キャリア発達にかかわる4能力領域は様々な場面ではぐくまれると言えよう。

小学校では、特に「人間関係形成能力」の育成に重点を置いた。「人間関係形成能力」は「ひと」とつながり、かかわることで培われ、はぐくまれる。子供たちを取り巻く「ひと」とは家族・子供・町の人・教師である。キャリア教育を通して子供たちが今の自分を知り、可能性のある自分を信じ、人とよりよいかかわりつなげることで、未来のなりたい自分を実現できるように願い、本実践を行った。

2 本校のキャリア教育

小さな社会でしっかり学び、大きな社会でたくましく生きる

キャリア教育を支える4能力領域

人間関係形成能力（あいさつ・感謝・協力・信頼・コミュニケーション力）
 情報活用能力（働くことに興味関心をもつ・働くことの意義が分かる）
 将来設計能力（自分の役割を知る・夢や希望をもつ）
 意志決定能力（自分で考え自分で行動する・責任をもって行動する）

(1) キャリア教育における「ひと」の位置付け

家族・・・生活上の多様な役割や意義及び関連等を理解し、自己の果たすべき役割などについて認識を深めるなど

子供たち・・・自己と他者相互受容

町の人・・・職業理解のための支援

教師・・・一人一人の課題に対応した支援

(2) キャリア教育にかかわる教科領域の取組

コミュニケーションタイム・・・全学年を通してコミュニケーション力を付ける。

国語科・・・「話す・聞く」の単元実践「ニュース番組を作ろう」「発表原稿を書こう」

社会科・・・「わたしの町 みんなの町」「自動車を作る工業」「わたしたちの政治と暮らし」

総合的な学習の時間（町学習）・・・町学習の目標は小さな町づくり人を育てることである。

町には「人」「川」「自然」がある。町で展開される実践的活動こそ、キャリア教育の目標にも迫っていけるものとする。3年生での「町の人」とのコミュニケーションの経験が下地となって5年生の「町の職人・働く人」へとつながっていく。

キャリア教育と関連性のある総合的な学習の時間・生活科	職業的発達にかかわる諸能力	発達課題
1年生「しぜんとなかよし みんなともだち」	人間関係形成能力	【自分と他者を理解する力】 友達と仲良く遊び助け合う
2年生「見て！さわって！感じて！やぎのいのち」	人間関係形成能力	【自他の生命を大切にする】 ヤギの飼育・世話・出産

「聞いて西尾のむかしばなし」	情報活用能力	【社会で共に生きる力】 町の人に昔話を聞き、町に関心をもつ
3年生「大好き！この人！この町」	人間関係形成能力	【コミュニケーション能力】 町のすてきな人探しをし、仲良くなる
	情報活用能力	【情報収集】 インタビューの仕方を学ぶ
4年生「聞いて！城下町の水の声」	情報活用能力	【情報を集め活用する力】 水質調査：川マップづくり
	意志決定能力	【自らの課題を見付け解決する力】 川をきれいにするために自分たちでできることを考え実行する
5年生「発掘！西尾の町職人 - 見付けよう！キラリ輝く心と技 - 」	人間関係形成能力	【コミュニケーション能力】 あいさつ・職場体験事前交渉活動
	情報活用能力	【職業理解能力】 職場体験を通して働くことの大切さややりがいを知る
	将来設計能力	【計画実行能力】 職場体験計画を立てる
	意志決定能力	【選択能力】 自分の決めた職場体験活動を最後までやり抜く
6年生「提案！21世紀の町づくり」	将来設計能力	【課題解決能力】 将来の夢や希望をもち実現に向けて努力しようとする 【計画実行能力】 町の改造計画を提案する

(3) ねらい

教科の学習を領域と関連付けて学習意欲を高める。

身に付けた知識や技能を町学習で発展的な学習として生かす。

= 職人さん、マザーテレサ、イチロー選手には共通しているところがあるよ。

職場体験から働くことへの夢をもつ。

職業人と接し、働くこと・働く人に肯定的な感情を抱く。

= カッコいい、おもしろそう、すごい、やってみたい、できるかな。

(4) 手だて

特に5年生の町学習「発掘！西尾の町職人 - 見付けよう！キラリ輝く心と技 - 」での実践では、職人さんや働く人とかかわり、職場体験を通して4領域の諸能力をはぐくむために、次の手だてを考えた。

西尾の町と人材を生かす。

ア 町にかかわる対象として学区に住む「職人・働く人」を取り上げる。 【地域教材】

イ スピーチで養ったコミュニケーション力を町の人とのかかわり合いの中で生かし、伸ばす。

【コミュニケーション力の活用と育成】

ウ 聞き取りや見学などによる調査内容を、発表やポスターセッションなどを通して町の人に表現する。 【表現活動】

主体的な学びを目指す。

ア 将来の職業生活や人間としての生き方に夢や希望がもてるよう、主体的な職業体験活動を取り入れる。 【職場体験】

イ 町学習と各教科のそれぞれで身に付けた知識・思考や技能などを意図的に関連付ける。 【町学習と各教科との相互関連 = 共振し合う学習活動】

ウ 体験や調べ学習を中心とした個人追究と、思考を中心とした全体追究のプロセスを、単元に位置付ける。 【知の交流】

エ 個の学習状況に応じたアドバイスをする。また、学習カードへの朱書きを通して、子供自身が適切に判断し、主体的に活動できるように支援する。 【教師支援】

オ 時間を有効に使い、深く追究する態度を養うために、夏休み中に職場体験活動を設定する。 【追究活動における十分な場と時間の保障】

3 実践の実際

5年生「発掘! 西尾の職人- 見付けよう! キラリ輝く心と技-」 活動内容	獲得させたい 職業的発達にかかわる諸能力
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">社会科との関連</p> <p>「私たちの生活と食料生産」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食卓の食べ物調べから、みそのなぞ調べへとつなげる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>みそ作り150年「はと屋」のAさん 10時間</p> </div> <p>みそのなぞを探ろう(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みそについて知っていることを自由に挙げる。 ・小グループで考える。 <p>(例) みその名前, 色, みそを使った食べ物など</p> <p>みそ蔵を見学しよう(3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はと屋」のみそ蔵を見学する。 ・みそ作りの工程とみそ蔵群を見学し, 様子をメモする。 <p>みそ作りを体験する(3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館にカーペットを敷き, その上に新聞紙を敷く。4, 5人のグループに一つ, ポールカナベ(大きめ)を用意。材料はAさんが用意してください。 ・Aさんと打合せをする。みそは家庭科準備室で保管する。 <p>みそ職人Aさんってどんな人(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aさんのすごいところを発表する。 ・Aさんの仕事に対する姿勢を具体的に発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>見付けよう! 私のこだわりの人 21時間</p> </div> <p>クラスで「こだわりの人の定義」を考えよう(2時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えるこだわりの人を発表し合い, クラスでのこだわりの人の定義を決め, 共通理解を図る。 	<p>情報収集・探索能力</p> <p>職業理解能力</p> <p>情報収集・探索能力</p> <p>自他の理解能力</p> <p>自他の理解能力</p>

・調べてきた人がこの定義に当てはまるかどうか、またこだわりの人と言えるかどうかを話し合う。

こだわりの人の定義
「信念をもって一つの仕事に頑張っている人」

町へ出掛けるマナーを身に付けよう(2時間)

・町へ出掛ける際のマナーや注意を確認する。

【あいさつ・話し方・電話のかけ方・アポイントの取り方・安全面の注意など】

町へこだわりの人を探しに出掛けよう(4時間)

・町に出て、多くのこだわりの人を見付ける。

・KJ法で、職種分けをする。(共通理解を図るため)

【技・手仕事・食べ物関係・こだわりなど】

・調査項目を事前にしっかり吟味しておく。

*教師は、この人は知って欲しいと思う

こだわりの人に気付かせる。

調べたい人を決定しよう(3時間)

・職人さんを一人にしぼる。

・この人に決めた理由をしっかり自覚させる。

社会科との関連
「わたしたちの生活と工業生産」
トヨタ自動車
関連工場見学
働く人の工夫と努力をつかむ

*担任は一人一人と対話し、決定の確認をする。決めかねている子には、助言する。

技と人を取材しよう。(10時間)

・何度も通って親しくなる。

・修行・弟子入りの交渉をし、計画を立てる。

・夏休みを利用して弟子入り体験をさせてもらう。

【修行・弟子入りの心得】

*見学の目的(調べる内容)をはっきりさせてから出掛けさせる。

コミュニケーション能力

職業理解能力

選択能力

職業理解能力

コミュニケーション能力

計画実行能力

1 「見る」...店の様子(外,中),手,道具,技,作業中の様子,作品をじっくり見る。絵に描く,写真を撮る,ビデオを撮るなど。

2 「聞く」...苦労したこと,この道を選んだ理由,今思うこと,大事にしていること,これだけはゆずれないことなどを聞き取る。

3 「体験する」...仕事を手伝う。技を教えてもらう。

4 「感じる」...もの,人,仕事に対する思い,生き方を実感する。



・4点を常に意識して調べさせる。「見る」ことから始め、「感じる」ことまで進めていけるように、担任が助言していく。

【体験例と子供につかませたい事柄】

	体験例	つかませたい事柄	
1	妙山えびせん	えびせんを焼かしてくれる・エビの煮むき	機械に頼らない手作りのよさ・素材選びへのこだわり
2	はずみ堂	おかしの発酵・	手先の動き・工夫・努力
3	パン屋さんなあに①	パン作り	福祉法人の意義・パンづくりへの情熱
4	パン屋さんなあに②	パン作り	
5	豆ぞう	煮豆並べ・補隙・煮あげ	お客さんへの想いと豆腐作りへのこだわり
6	金原建設	風呂いすづくり・道具の使い方・かんな削り	職人の職人技・心意気・筋力をし続ける姿勢
7	野村書店	ミニ畳づくり	職人技・努力・宣伝の工夫
8	テラー・タマキ	アイロンかけ	職人技・仕事へのプライド・向かう姿勢
9	鳥居竹村工務	竹とんぼ・竹編み	伝統工芸・芸術美・鍛錬
10	道・you/バルコ	お客さんコーヒーだし・チラシ色塗り・タオルたたみ	技術・お客さんとのコミュニケーション
11	中村和楽器	胡弓製作・和楽器の音をたくさん聞かせる	技術・仕事に対する情熱や愛情
12	靴のお通	靴のひも通し・お店の補隙	シューフィッターのこだわり
13	コスモEMタウン	和紙作り	環境について世の中に働きかけている姿から敬意を持つことの大切

ここがすごいよ！こだわりの人 19時間

「こだわりの人」報告会を開こう（2時間）

- ・こだわりの人の紹介と選んだ理由を発表する。
- ・コミュニケーションタイムでも話題にする。

*参考 CBCテレビ(土) 5:55~

「人生の応援歌」

取材をまとめよう(10時間)

- ・こだわりの人のポスターをつくる。

こだわりの人の発表をしよう(3時間)

- ・町ステキ発見ウォークで、ポスターを使って家族に自分のこだわりの人を紹介する。店先や職人さんの家の前で発表を行い、できるだけたくさんの人に聞いてもらう。(保護者に、子供の学習の様子やお世話になった人を知ってもらうことができる)

- ・学年全体でポスターセッションをする。(多くのこだわりの人を知ることができる)

「こだわりの人」について話し合おう(2時間)

- ・こだわりの人の生き方に注目させて、「人の生き方」について話し合う。
- ・今までの自分たちの活動を振り返り、こだわりの人のよさを話し合う。人の生き方に学ぶその1「職人・マザーテレサ・イチロー」(1時間)
- ・見学事例や体験種から得た事柄を発表し、人の生き方を考える。

- ・負の事柄から正の部分へ迫る。(努力・工夫・一生懸命さ)

人の生き方に学ぶその2「働くことについて考えよう」(1時間)

- ・体験学習・発表会・今までの学習から総合して考えさせる。

- ・こだわりの人の生き方に注目させて、「人の生き方」について話し合わせる。

- ・これまでの自分たちの活動を振り返り、こだわりの人のよさを話し合ったり、披露したりする。

【ポスター中に入れるとよい内容】

こだわりの人の定義にかかわる内容を入れ、その中ですごいと思うことを中心に書く。感想や学んだことも入れる。

国語科との関連

「マザーテレサ」

テレサの生き方を探り、職人の生き方に重ね合わせ、そこから自分の生き方を考えさせる。

道徳との関連

「イチローの挑戦」

目標をもって努力し続ける姿勢

情報収集・探索能力
職業理解能力

情報収集・探索能力

自他の理解能力
コミュニケーション能力
職業理解能力

自他の理解能力
職業理解能力
役割把握・認識能力
計画実行能力

課題解決能力

広めよう！町の宝 15時間

国語科との関連

「ニュース番組を作ろう」：取材を基に紹介文やニュース原稿を作成する。

今までの学習や経験を生かして、紹介方法を考える。(8時間)

・こだわりの人の良さを確認し、みんなに広めたいという気持ちを芽生えさせる。

町学習発表会ポスターセッション(保護者,4年生)(7時間)

・ポスターセッションでこだわりの人を紹介する。

(技の実演・VTRなど)

課題解決能力

情報収集・探索能力

職業理解能力

コミュニケーション能力

ケーブルテレビ局	ビデオ撮りをしてPRしてもらう。
職人マップ	一定期間掲示板を設置してもらう。 (新聞紙大「 屋」前駐車場・駅など)
広告ポスター	店頭に置いてもらう。
インターネット	アドレス(Bさん) 西尾小学校や市のホームページを活用する。

4 成果と課題

(1) アンケート結果(対象:本校5年生38人)

Q 働くことをどう思いますか

職場体験前(7月)

お金がもうかるから楽しい	15人
大変・苦勞がありそう	9人
分からない	10人
やりがいがあって楽しい	4人

職場体験後(10月)

お金がもうかるから楽しい	9人
大変・苦勞がありそう	10人
分からない	1人
やりがいがあって楽しい	18人

(2) 成果

アンケートの結果、働くことについて分からない子がかなり減少し、仕事についての認識ができるようになった。また、職場体験を夏休みに設定したことで、受入先と子供たちの都合が合わせやすくなり、十分な時間を確保して職場体験をすることができた。社会科の「自動車工業」の部品工場や販売店の見学学習で、職人さんと比べて考えたり、機械のことやそこで働く人の技や工夫や努力について積極的に質問したりする子が増えた。これは「生き方を探る」一斉授業を境に他の授業でも真剣に取り組もうという意欲がみられたと考える。さらに、一斉授業の振り返りカードからは「わたしも職人さんのように夢をもちたい」と他の子が体験した職人さんの話から感じる子も出てきた。(資料13)

(3) 課題

個の追究意欲は様々で、時間差、温度差もある。したがって一斉に活動を組むのが難しく、授業以外の時間にも頼ってしまった部分がある。

すでにキャリア教育が行われている学校区の中学校を視野に入れた単元づくりと連携方法の構築が必要である。

5 終わりに

町の職人さん・働く人は子供たちに様々なことを教えてくださった。もはや子供たちにとって職人さんはイチローやマザーテレサを超えるあこがれの存在であり、尊敬すべき人物となっていた。彼らが大人になる過程で、また、仕事に就くとき、様々な場面で今回の実践で学んだことが思い出され、職人さんの技や心から学んだことが「生き方」に反映されることを願う。

【実践事例2】中学校における取組

一人一人の職業に対する興味・関心を重視した職場体験学習

東海市立横須賀中学校

1 はじめに

児童生徒の「健全な勤労観，職業観を育成する」ことを目的とするキャリア教育の中で，中心的な活動の一つが職場体験学習である。本校では例年，2年生の夏休みに実施しているが，職場体験学習が単に「2年生の行事」としてとらえられがちである。その理由は，職場体験学習の当日の活動のみが重要視されて，事前・事後の学習，もっと言えば1年生から3年生までを見通して考えられたキャリア教育が計画的に実践されていないためだと考えられる。そこで本年度の2年生は，1年生の3学期から職業調べや社会人の話を聞く会を実施し，2年生になってからも職場体験に向けての事前学習を計画的に行ってきた。特に，生徒が事業所を選ぶ際に，できるだけ生徒の職業に対する興味・関心を大切にしたいと考え，今回の実践を行った。

また東海市では，平成17年度から「東海市キャリア教育実務担当者会」が立ち上げられ，市内の6中学校で協力して事業所との折衝に当たったり，教育委員会や地域の商工会議所・青年会議所との連携を取り合ったりしている。このことから，本校における職場体験学習の活動が充実してきていると言える。

2 本実践のねらい

- 職場体験学習にかかわる活動を通して，自分の適性について考える。
- 身近な人々の仕事を実際に体験することで，働くことの意義や職業に対する意識を高める。
- 社会生活に必要な様々な仕事の大切さを理解し，望ましい職業観を身に付ける。

3 実践の実際

(1) 東海市としての取組

前述した「東海市キャリア教育実務担当者会」の概要について以下に示す。

組 織

キャリア教育担当校の教頭（取りまとめ）・東海市教育委員会指導主事・東海市商工会議所代表・東海市青年会議所代表・各中学校キャリア教育担当者

主な活動（年間5回）

- 職場体験の受入先（事業所）との連絡調整を協力して行う。
幹事校が6中学校分の受入れの人数や時期などを担当の事業所と折衝する。
- 東海市6中学校分の受入先一覧を作成する。
保育園や市の公共施設については，東海市教育委員会が担当する。
- 職場体験学習を中心としたキャリア教育にかかわる情報交換を行う。
- 職場体験学習についてのアンケートを行い，次年度以降の活動に役立てる。

(2) 職場選びの基本的な考え方

職場選びについては、生徒に次の四つの柱を重視させることにした。

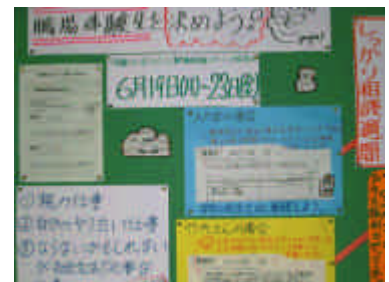
保護者の職場を訪問し、仕事を体験してみる。
 (保護者がなぜその仕事を選んだのか実際に体験し、保護者の新たな一面を発見すると同時に、仕事の意義を理解するため)
 将来やってみたいと考えている仕事を体験してみる。
 (自分が希望している仕事の現実を知り、自分に適しているかどうかを肌で実感するため)
 将来その職業には就かないかもしれないが、生活の中で大切な仕事を体験してみる。
 (例えば、農業や清掃、ごみ収集等の仕事の大切さを理解するため)
 医療・福祉などの奉仕的色彩の強い職場を体験してみる。
 (老人介護や障害者の施設での体験を通して、医療・福祉にかかわる仕事の大切さを理解するため)

(3) 受入先の確保について

本校の2年生は282名であり、一つの事業所に多くの生徒が集中するとお互いに頼ってしまったり、緊張感に欠けてしまったりすると考え、できるだけ多くの受入先を準備することにした。

受入先の種類を以下に示す。

東海市キャリア教育実務担当者が確保した事業所
 横須賀中学校が以前から職場体験学習を依頼してきた事業所
 生徒の希望を参考に、横須賀中学校が新たに開拓した事業所
 生徒の保護者や知り合いにお願いした事業所(縁故)



(4) 実践計画

職場選びの説明

活 動 の 内 容 (教 師 の 支 援 を 中 心 に)	獲得させたい職業的発達にかかわる諸能力
<p>1 職場体験学習のガイダンスと希望コースのアンケートを行う。 ○教師は、アンケートを基に職場選びのアドバイス(個人面談)を行う。 ○生徒のアンケートを職種ごとに分類する。</p> <p>2 自分が働いてみたい職種や事業所の希望調査を行う。 ○前回のコース選択を基に、具体的な職種・事業所名を書かせる。(10種類まで) ○生徒の希望コースと職種とのミスマッチがないか点検する。</p> <p>3 求人票から自分が働いてみたい事業所を選択する。 ○学年の掲示板に、求人票を掲示</p>	<p>【職業理解能力】 【選択能力】</p> <p>【情報収集・探索能力】 【選択能力】</p> <p>【情報収集・探索能力】 【選択能力】</p>



する。 = 横中ハローワーク 横中ハローワーク

- 生徒の希望を調整して、職場体験先を決定し、「職場体験先決定通知」を作成して生徒に渡す。
- 4 事前打合せの計画書と、履歴書を作成する。
 - 同じ事業所に行くグループで場所や行き方・交通手段を調べさせる。 事前計画書に記入
 - 履歴書については、個別に書き方の指導を行う。
 - 事業所を訪問する際の注意事項を確認させる。
 - 訪問日時を生徒に電話で確認させる。
- 5 事業所との事前打合せを行う。
 - 事業所の方にあいさつをし、当日の打合せを行う。
 - 当日の持ち物や服装・注意事項を計画書に記入させる。
- 6 職場体験学習の事前指導（全校出校日）
 - 翌日から始まる職場体験学習の最終確認を行う。
- 7 職場体験学習
 - 各事業書を教師が訪問し、生徒の様子を把握する。
- 8 職場体験の事後指導（学年出校日）
 - お礼のはがき作成
 - 職場体験事後報告書の記入
 - アンケートの実施（事業所・保護者・生徒）
 - 職場体験学習についての作文（国語科）

} 生徒の活動

- 【課題解決能力】
- 【役割把握・認識能力】
- 【自他の理解能力】

- 【コミュニケーション能力】

- 【コミュニケーション能力】
- 【計画実行能力】

- 【課題解決能力】

- 【計画実行能力】
- 【課題解決能力】

- 【自他の理解能力】
- 【職業理解能力】



4 実践結果

(1) アンケート結果

職場体験学習の事後アンケート（生徒用）	
1	目標をもって取り組むことができたか。 A 十分にできた B できた C あまりできなかった D できなかった
2	家族と職場体験学習について話し合ったか。 A よく話し合った B 話し合った C あまり話し合わなかった D 話し合わなかった
3	受入先の方や地域の方と交流できたか。 A 十分にできた B できた C あまりできなかった D できなかった
4	職場体験学習は、充実していたか。 A 大変充実していた B 充実していた C あまり充実していなかった D 充実していなかった
5	働くことや職業について考える機会になったか。 A 大変なった B なった C あまりならなかった D ならなかった
6	社会のルールやマナーの大切さが分かったか。 A よく分かった B 分かった C あまり分からなかった D 分からなかった
7	人とのコミュニケーションの大切さを感じたか。 A 大変感じた B 感じた C あまり感じなかった D 感じなかった
8	学校での学習に対する意欲が向上したか。 A 大変向上した B 向上した C あまり向上しなかった D 向上しなかった

生徒用 総数281人

		A	B	C	D	無回答
1	人数	116	140	21	2	2
	%	41.3	49.8	7.5	0.7	0.7
2	人数	68	108	90	13	2
	%	24.2	38.4	32.0	4.6	0.7
3	人数	123	133	23	0	2
	%	43.8	47.3	8.2	0.0	0.7
4	人数	162	105	12	0	2
	%	57.7	37.4	4.3	0.0	0.7
5	人数	135	137	7	0	2
	%	48.0	48.8	2.5	0.0	0.7
6	人数	145	120	14	0	2
	%	51.6	42.7	5.0	0.0	0.7
7	人数	161	107	10	1	2
	%	57.3	38.1	3.6	0.4	0.7
8	人数	51	154	57	17	2
	%	18.1	54.8	20.3	6.0	0.7

職場体験学習の事後アンケート（保護者用）	
1	お子さんと職場体験学習について話し合われたか。 A よく話し合った B 話し合った C あまり話し合わなかった D 話し合わなかった
2	職場体験学習を通して、好ましい変化がみられたか。 A よくみられた B みられた C あまりみられなかった D みられなかった
3	職場体験学習は、お子さんにとって有意義だったか。 A 大変有意義だった B 有意義だった C あまり有意義でなかった D 有意義でなかった

保護者用 総数281人

		A	B	C	D	無回答
1	人数	53	159	60	6	3
	%	18.9	56.6	21.3	2.1	1.1
2	人数	58	107	95	18	3
	%	20.6	38.1	33.8	6.4	1.1
3	人数	92	165	19	2	3
	%	32.7	58.7	6.8	0.7	1.1

職場体験学習の事後アンケート（事業所用）	
1	生徒たちは目標をもって積極的に取り組んだか。 A 大変積極的だった B 積極的だった C あまり積極的でなかった D 積極的でなかった
2	生徒たちに好ましい変化はみられたか。 A よくみられた B みられた C あまりみられなかった D みられなかった
3	学校との連携はできたか。 A 十分にできた B できた C あまりできなかった D できなかった
4	中学生や学校への理解が深まったか。 A 大変深まった B 深まった C あまり深まらなかった D 深まらなかった
5	今後、3日間の職場体験学習に協力していただけるか。 A 積極的に協力する B 協力する C あまり協力できない D 協力できない

事業所用 総数82件

		A	B	C	D	無回答
1	人数	22	45	13	0	2
	%	26.8	54.9	15.9	0.0	2.4
2	人数	23	51	6	0	2
	%	28.0	62.2	7.3	0.0	2.4
3	人数	19	40	20	1	2
	%	23.2	48.8	24.4	1.2	2.4
4	人数	17	46	16	1	2
	%	20.7	56.1	19.5	1.2	2.4
5	人数	24	49	4	3	2
	%	29.3	59.8	4.9	3.7	2.4

(2) 生徒の作文より（生徒の心に残った職業人からの一言）

- 「どんな時も、姿勢を正しくシャキッとしていなさい」(男子・ボーリング場)
- 「部屋に、髪の毛一本も落としてはいけない」(男子・シティホテル)
- 「部屋は売り物です」(男子・シティホテル)
- 「大事なことは、人に言われてやらされるんじゃない。自ら進んで取り組むことです」(女子・介護施設)
- 「しつけは、褒め言葉とボディスキンシップと物」(男子・動物愛護センター支所)
- 「決められた量をきちんと入れないと、店の味が変わる」(男子・ラーメン店)
- 「どの仕事も同じくらい大事」(男子・飲食店)
- 「困ったときは、怒ってもいいんだよ」(女子・保育園)
- 「美容室は玄関が命だからね」(女子・美容室)
- 「常に次に仕事をする人が、仕事をしやすいように考えるんだよ」(女子・書店)
- 「お客様には、元気な声で反応しなさい」(男子・書店)
- 「どんな仕事にも、楽しいことがあればつらいこともあるんだよ」(女子・保育園)
- 「休憩も仕事のうちだよ」(女子・農業)
- 「GSとは、お客様にサービスするところです」(男子・ガソリンスタンド)
- 「心の中のゆとりのある人は、お金がなくても花を買う。でも、心のゆとりのない人は、お金があっても花を買わない」(女子・生花店)
- 「何をするにも手を洗いなさい」(女子・飲食店)
- 「子供たちと同じ気持ちになって一緒に喜んだり、驚いたりすることが大事だよ」(男子・放課後児童クラブ)
- 「普通にやっていたら1%しか楽しいことはない。だから、自分で楽しみを見付けなさい」(男子・スポーツ品店)

(3) 考察

職場体験学習が終わった翌日に、事後学習として事業所へのお礼のはがきや職場体験学習を振り返っての作文を書かせた。作文の中には上記のように、生徒の心に響いた事業所の方々の言葉が数多く書かれていた。今回の職場体験学習は、全体的に生徒が意欲をもって熱心に活動に取り組み、健全な勤労観・職業観の育成に大いに役立ったのではないと思われる。

生徒へのアンケートから

生徒自身による自己評価では、各項目で肯定的な評価を行っており、アンケート結果からも職場体験学習が充実した活動であったと考えられる。ただ「家族と職場体験学習について話し合ったか」の項目では、「あまり話し合わなかった」の回答が多く、職業や将来の進路に関する話題が家庭であまり取り上げられていないことが分かった。また、「学校での学習に対する意欲が向上したか」の項目では、他の項目と比べて「あまり向上しなかった・向上しなかった」の回答が多く、学校における教育活動が社会の様子や働くこととあまり結び付いていないと考えられる。

保護者へのアンケートから

保護者についても、アンケート結果からは全体的に職場体験学習について肯定的なとらえ方をしていると考えられる。ただし、「職場体験学習を通して好ましい変化がみられたか」の項目では「あまりみられなかった」という答えが「よくみられた」よりもはるかに多く、職場体験学習で学んだことが、すぐに家庭における生徒の動きにはつながっていないようである。

事業所へのアンケートから

多くの事業所に生徒の努力の様子や好ましい変化があったことを肯定的に評価していただくことができた。また、来年度の職場体験学習への協力を約束していただいた事業所も多い。しかし「学校との連携」という点では事前の打合せ不足を指摘される事業所も幾つかあった。一部ではあるが、受け入れていただく人数や集合時間などの行き違いが出てしまった。

5 成果と課題

(1) 成果

体験先を選ぶ際に、希望コース 職種 具体的な事業所というように何度も希望調査を行うことで、生徒が職業に対してイメージを固めながら体験先を選ぶことができた。

事前の学習で担任が個人面談を行うことにより、自分の職業に対する希望やイメージが漠然としている生徒に具体的なイメージをもたせることができた。

横中ハローワーク（求人票）から事業所を選んだり、実物に近い形式の履歴書を作成したりするなど、将来就職するときに行われる活動に近いことを体験することができた。

事後の学習として、お礼のはがきを書いたり職場体験学習を振り返って作文を書いたりすることで、事業所の方々に対する感謝の気持ちをもち、活動の中で学んだことや職業に対する自分の考えをまとめることができた。

事前・事後指導を充実させることで、職場体験学習がより充実したものとなった。

(2) 課題

林間学習の準備と重なって、生徒も教師もあわただしい中での活動となってしまう、時間的なゆとりがなかった。

友達と相談して事業所を選ぶ生徒や、最後まで自分でコースや職種・事業所を選ぶことができず、教師に任せっきりになってしまった生徒がいた。

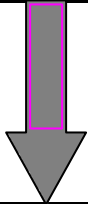
学校と事業所、生徒と事業所の打合せが不十分だったところがあり、多少ではあるが当日の活動に支障が出てしまった。

職場体験学習に限らず、職業や将来の進路について話し合われていない家庭も多く、保護者に対する事前の説明をしっかりと行うべきだった。

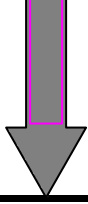
市内6中学校や教育委員会、地域や事業所との連携を取ることはできているが、小学校や高等学校との連携がほとんどない。

職場体験学習 1日の動き

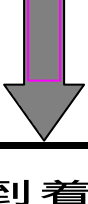
自宅



集合



移動



到着

活動

欠席する場合，必ず以下の3カ所に連絡を入れる！

代表者(2年 組)(* 代表者が家を出発する前までに 職場体験先の担当の方(さん)(先生携帯()
--

代表は人員を確認し，出発。

- * 集合場所に来ない人がいる場合は，先生携帯へ連絡する。(代表者に連絡があった場合は必要なし。)

職場体験学習で (職場名)に行く2年 組の ですが， さんが集合場所に来ません。どうすればよいですか。
--

*** 自転車で行く場合は，必ずヘルメットをかぶる。**

- * 公共交通機関では，一般のお客様に迷惑を掛けないようにする。
- * 途中で事故にあった場合は，すぐに学校に連絡する。
- * 約束の時間の10分前には，事業所に到着できるようにする。

全員そろって，元気よくあいさつしよう！

代表 : おはようございます。 メンバー : おはようございます。 代表 : 一生懸命頑張りますので，よろしくお願いします。 メンバー : お願いします。
--

- * 個人の場合も必ずあいさつをする。

それぞれの活動場所で，一生懸命活動しよう！

- * 名前を呼ばれたら，元気よく「はいっ」と返事をする。
- * 指示を受けたら，はっきりと返事をする。

はい，分かりました。 すみません。よく分からないので，もう一度教えてください。
--

* 困ったら，素直な態度で教えていただく。 * やることがなくなったら，何かできることはないか探す。 * 遊んだり，無駄話をしたりしないようにする。 * 職場に来たお客様にもきちんとあいさつをする。 * 働いている人たちが，嫌な気持ちのする行動や話をしない。

終了

感謝の気持ちを込めて、丁寧にあいさつをする。

代表 : 今日1日、大変お世話になりました。
ありがとうございました。
メンバー : ありがとうございました。

* 個人の場合も必ずあいさつをする。

解散

寄り道をせずに、家に帰る。

* 家に着いたら、代表者が学校の携帯電話に電話を入れる。

自宅

職場体験学習で (職場名) に行った、2年組の です。
無事に体験学習が終了しました。

後ではがきや体験作文を書くために、日記をつけておこう。

—— 学校の携帯電話の番号 ——

- 1号機
- 2号機
- 3号機
- 4号機

代表者は、3日間毎日必ず終了報告を決められた携帯にかけること！

職場への電話依頼のしかた

来週からみなさんにはそれぞれの職場に電話依頼をしてもらいます。このプリントを参考にして、しっかり練習してみてください。絶対に棒読みにならないように！！

START

こんにちは。私は(東海市にあります,)横須賀中学校の2年生の _____ といいます。8月8日火曜日から3日間職場体験があり,その事前の打合せをお願いしたくてお電話しました。担当の方をお願いします。

担当者が出ました

こんにちは。私は(東海市にあります,)横須賀中学校の2年生の _____ といいます。8月8日火曜日から3日間職場体験を予定しています。そちらの職場を希望している人数は全部で _____ 人です。よろしくお願いします。
事前の打合せですが,授業の関係で7月14日の金曜日の午後を予定しています。そちらの御都合はいかがでしょうか。

いいそうです

何時ごろならばよろしいでしょうか。
それでは7月14日の _____ 時に伺いますのでよろしくお願いします。失礼します。

それでは事前打合せの準備をしましょう。

何時ごろならばよろしいでしょうか。
それでは7月19日の _____ 時に伺いますのでよろしくお願いします。失礼します。

それでは事前打合せの準備をしましょう。

担当者がいませんでした

担当者はいつならばお見えになりますか。

そうですか。それでは改めて _____ 日のおかけしますので,担当の方によろしくお伝えください。失礼します。

ではまた今度.....

都合が悪そう.....

予備日として7月19日の午後もあるのですかこの日はいかがですか。

今度は良さそう

この日もダメ...

そうですか。それではいつであればよろしいですか。

授業の関係でその日に行けるか,先生に相談して,また改めてお電話します。失礼します。

【実践事例3】高等学校における取組

キャリア発達を支援する組織的な職場体験

愛知県立津島北高等学校

1 はじめに

(1) 本校の概要

本校は1学年5学級（普通科2，商業科3，平成18年度より普通科3）の併置校である。「勤勉・誠実・健康」という校訓のもと、「希望がかなう教育」を目標に文武両道を実践している。生徒のために厳しいが面倒見のよい指導で，地域からの信頼を得ている。

商業科を含め全校生徒の80%以上が進学希望であり，就職は毎年30名程度である。

(2) 学校全体での取組

進路指導部主導のもと進路指導が段階的に行われている。特に，生徒自身に進路を主体的に選択させる指導を実践している。

入学時に「サクセスストーリー」（入学時から卒業まで，いつ何をどのような気持ちで取り組めばよいかを進路希望別に示したもの）を用いて，3年間の高校生活の目標を具体化させている。

1年次から進路意識を確立させるために，「進路の手引」を配付し，様々な課題に挑戦させている。課題の内容は，進路適性検査・職業適性検査結果を用いた自己理解，「将来の夢」を描く，「職業」について考える，職業人にインタビュー，学校案内の入手と内容理解，大学調べ，学部・学科調べ，自分が今後すべきことのまとめ等である。1年次は，進路希望にかかわらずこれらの内容を全員に考えさせている。2年次は就職・進学の希望別に，1年次より深く研究する課題を与えている。

年に一度は，勤労観，職業観の育成を目的に，講演会を実施している。商業科よりも，進学希望の普通科に聞かせることが目的である。

さらに就職希望者には，企業の人事担当者による講話，グループに分かれての会社見学，外部講師による面接指導，先輩と語る会なども実施している。

(3) 商業科での取組

商業科は授業の中で様々な取組を行っている。平成6年度より実施の職場体験，地元の方々にパソコン操作を個人指導する「北高パソコン塾」（平成15年度より実施），近隣の高等学校から仕入れた花・野菜等を販売する「北高バザー」（平成15年度より実施），津島市の「高齢者向けのパソコン教室」の講師（平成16年度より実施）を行っている。また，福祉施設でのボランティア活動，社会人講師を招いた講演も適宜行っている。

2 本実践のねらい

職場体験の実践は，在学中に実社会での就業体験を行うことは職業観・就業意識を高める上で大きな効果があるとして，一日体験入社という名称で，平成6年度に下記の一連の事業の一環として実施された。2年商業科全員が12の職場に分かれ職場体験を行った。

1年	10月	地場産業の職業見学
2年	11～12月	職業人インタビュー
	2月	一日体験入社
3年	6月	先輩と語る会
	12月	社会人セミナー

平成8年度からは、体験場所を(株)ヨシツヤの1社とし、2年商業科全員が職場体験を行っている。平成11年度から2日間、平成13年度からは3日間で実施している。

本年度からは、事前指導、事後指導の充実を図るため、職場体験前後に(株)ヨシツヤ人事部長より直接指導をいただくことにし、職場体験3日、事前指導1日、事後指導1日という5日間で実施した。

ヨシツヤ体験入社は、実際の職場で就業体験することを通して、望ましい勤労観、職業観を身に付けるとともに、将来の職業に対する意識を高めることをねらいとしている。

3 実践の実際

(1) 本実践の概要

(株)ヨシツヤにおける職場体験では、生徒は8店舗に分かれ販売実習を行う。8店舗という店舗数は、教員の引率や1店舗での受入生徒数の関係で決めており、毎年7～9店舗で実習している。実習を行う店舗は、生徒からの希望調査結果と、各店舗の受入生徒数を考慮し、(株)ヨシツヤと相談し決定している。実習内容は、基本的には販売に関する業務であるが、事務センターで経理の補佐等を行うこともある。表1は、平成17年度の実習先

表1 平成17年度 配属課名一覧と実習生徒数の課名と配属された生徒数の一覧である。平成17年度の場合、生徒が配属された課は、合計33課であった。

3日間の職場体験の間、生徒はブラザーさん、シスターさんと呼ばれる(株)ヨシツヤの社員の方々から、直接、個別指導を受けている。毎日の実習の中で、店長講話と、反省会を実施している。

番号	課名	生徒数
1	ドライ	11
2	日配	9
3	青果	7
4	肌着	7
5	Yレジ	6
6	酒	6
7	精肉	6
8	婦人	6
9	紳士	5
10	玩具	4
11	住閑	4
12	日雑	4
13	日用品	5
14	YY	3
15	家電	3
16	子供	3
17	鮮魚	3

番号	課名	生徒数
18	惣菜	3
19	服飾	3
20	飲食	2
21	靴	2
22	本	2
23	洋品	2
24	カー用品	1
25	スポーツ	1
26	ファンシー	1
27	寿司	1
28	百円均一ショップ	1
29	販促	1
30	販促(事務センター)	2
31	システム(事務センタ	1
32	買掛(事務センター)	1
33	元帳(事務センター)	1

計33課

(2) (株)ヨシツヤの概要

商号 株式会社 義津屋
 創業 昭和7年8月8日
 正社員数 897名
 従業員数 約3500名
 店舗数 22店舗
 事業内容 総合ショッピングセンター

(3) 活動内容

月	活 動 内 容	生徒に獲得させたい職業的発達にかかわる諸能力
5月	第1回打合せ ・(株)ヨシヅヤ人事部長と教頭・商業科主任・担当教員による体験入社日程の調整等	
7月	生徒の希望店舗調査	
9月	第2回打合せ ・(株)ヨシヅヤ人事部長と担当教員により,生徒店舗希望調査結果より実習店舗の決定,体験入社実習の正式依頼	
10月	配属課名,ブラザー,シスターの決定	
	引率者会議 ・スケジュールの確認 ・生徒の集合場所,服装等	
	実習店舗店長と打合せ ・体験入社の正式依頼 ・体験入社に関する詳細な実施内容等の依頼	
	体験入社日誌の製本	
	第1回事前指導(業後) ・商業科主任講話 ・保護者向け案内配付 ・身だしなみ指導	情報収集・探索能力 職業理解能力
	第2回事前指導(業後) ・生徒指導主事講話 ・日程詳細説明 ・提出書類について ・お礼状(の書き方)について ・身だしなみ指導	情報収集・探索能力 職業理解能力
	第3回事前指導(業後) ・進路指導主事講話 ・最終チェック(身だしなみ,集合等)	情報収集・探索能力 職業理解能力
	第4回事前指導 ・(株)ヨシヅヤ人事部長講話	情報収集・探索能力 職業理解能力
	体験入社3日間 ・1日目 店長講話「体験入社に当たって」 店長講話「社会人の資質」 ・2日目 店長講話「実習を通して気付いたこと」 ・3日目 店長講話「商業科高校生に向けて」	自他の理解能力 コミュニケーション能力 情報収集・探索能力 職業理解能力 役割把握・認識能力 選択能力
	第1回事後指導(朝学時,業後) ・お礼状の提出 ・作文の提出 ・体験入社日誌の提出	計画実行能力 課題解決能力
	第2回事後指導 ・(株)ヨシヅヤ人事部長講話	計画実行能力
	第3回事後指導(朝学時) ・体験入社日誌の提出	計画実行能力 課題解決能力

(4) 体験入社 3 日間の流れ

時 間	内 容	生徒の動き	引率教員の動き
8:10	遅刻・欠席連絡	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・欠席連絡は 8:10 ~ 8:30 に学校へ。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・欠席連絡を受ける。
8:40	現地集合，点呼 身だしなみチェック	<ul style="list-style-type: none"> 時間厳守（早過ぎることもないように） 自転車は従業員用自転車置場へ置く。 そのまま作業ができる服装と補助バッグで集合する。 実習にふさわしい身だしなみであるかどうか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 少し早めに現地へ行き，生徒の誘導，自転車置場整理の指導をする。 点呼，身だしなみのチェックをし，入店前に学校へ連絡をする。 メモ帳，筆記具の携帯を確認する。
8:55	引率教員と共に入店 （従業員用出入口より）	<ul style="list-style-type: none"> 8:55 に間に合わなければ，学校へ制服で登校する。 大きな声で，気持ちの良いあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみが十分でない生徒には，「帰宅して，制服に着替えて学校へ登校する」ことを伝える。ただし，その場で直せるものは指導し，入店させる。
9:00	《1日目》 オリエンテーション 店長講話 ~ 体験入社に 当たって~ ブラザー，シスターと顔 合わせ	<ul style="list-style-type: none"> 心構え，諸注意などを聞く。 よく聞いてしっかり守ること。 このあとはすべて，ブラザー（B）さん・シスター（S）さんの指示に従う。 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションの司会を行う。司会を店長に任せても良い。 荷物置場の確認，昼食の場所の確認，反省会の場所の確認をし，生徒に連絡する。 体調不良者が出た場合，「学校までご一報ください」とお願いする。 引き渡した後，しばらく店内を巡回し，様子を見計らって引き上げる。
9:00	《2日目以降》 直接，職場に行く	<ul style="list-style-type: none"> 作業準備に取り掛かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前日の記録用紙がしっかり書かれているか確認する。 引き渡した後，しばらく店内を巡回し，様子を見計らって引き上げる。
9:10	作業開始	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトなメモ帳と筆記具を携帯する。 分からないことや疑問に思ったことは，B・Sさんに一日最低二つは質問する（要記録） 貴重品の管理は，各自で行う。 昼食時間は作業の状況により変わることもあるので，B・Sさんの指示に 	<ul style="list-style-type: none"> 店内巡回指導を行う。
9:30	朝礼 (12:30 ~ 13:10 昼食・休憩)		

15:00	作業終了	<ul style="list-style-type: none"> 従う。 昼食休憩後，5分前に職場に戻る。 職場を離れるときはB・Sさんに所在を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 14:40～14:50 入店する。 反省会前に店長と反省会の流れを確認する。
15:05	反省会	<ul style="list-style-type: none"> 記録用紙の内容に沿ってその日の感想，反省，明日に向けての抱負を大きな声で発表する。 一日の実習を終えて疑問に感じたことを質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> 反省会の司会を行う。 1 店長講話(初日:店舗概要，社会人の資質，2日目:実習を通して気付いたこと，3日目:商業科高校生に向けて) 2 生徒発表(感想，反省，明日への抱負) 3 質疑応答(一人一回は質問できるよう事前に指導する)
15:30	解散(予定)	<ul style="list-style-type: none"> しっかり休養をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「日誌はその日のうちにまとめるように」，最終日には「明日，日誌・作文・お礼状を必ず持ってくるように」と生徒へ伝える。



オリエンテーション



朝礼

(5) 単位認定・評価

3日間を商業科目の授業として位置付け，欠席は商業科目の欠席時間数としている。職場体験による単位認定や評価を出すことはしていない。

(6) 損害賠償保険の加入

店舗内の器物破損に対しては，「インターシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険制度」加入で対応している。

(7) 生徒の感想

- ・働くことの大切さを体験できた。

- ・朝早くから出社して夕方まで毎日働くことのつらさを感じた。
- ・働いた経験がないので、働くことがどんなものかが分かってよかった。
- ・待つのではなく、積極的に行動することの必要性を体験できた。
- ・指示をしっかりと聞いて行動することの大切さを学ぶことができた。
- ・少しでも会社の中を見ることができたのはよかったと思う。
- ・周りに気を配る難しさと大切さを学べた。
- ・使用したことがない機器を操作できるようになってよかった。
- ・自分の行動力を把握することができた。
- ・何事にも積極的に行動することの大切さを理解できた。
- ・お客様とのコミュニケーションの大切さを学んだ。
- ・接客が難しかった。
- ・職場における人間関係の重要性を体験できた。

4 考察

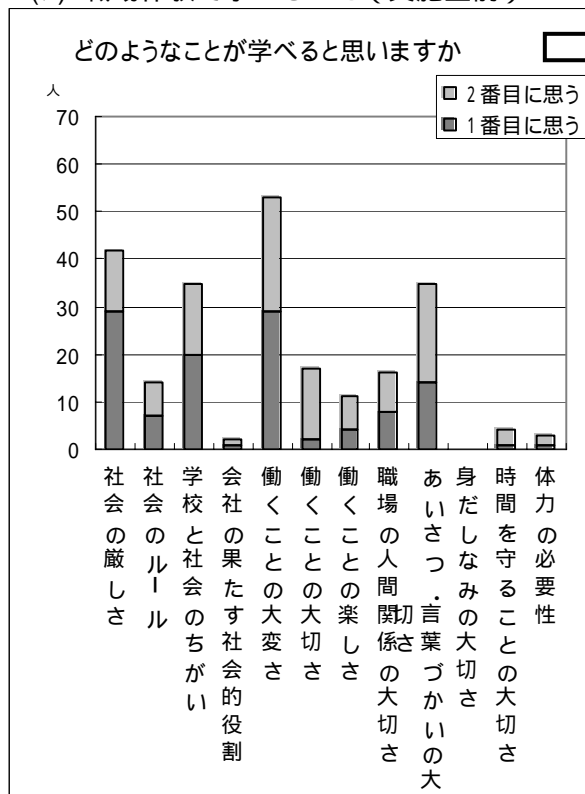
平成 18 年度の職場体験の前後に、生徒 116 名に対しアンケートを行い勤労観、職業観についてどのような変化が認められるかを調査した。

(1) 職場体験で学んだことについて

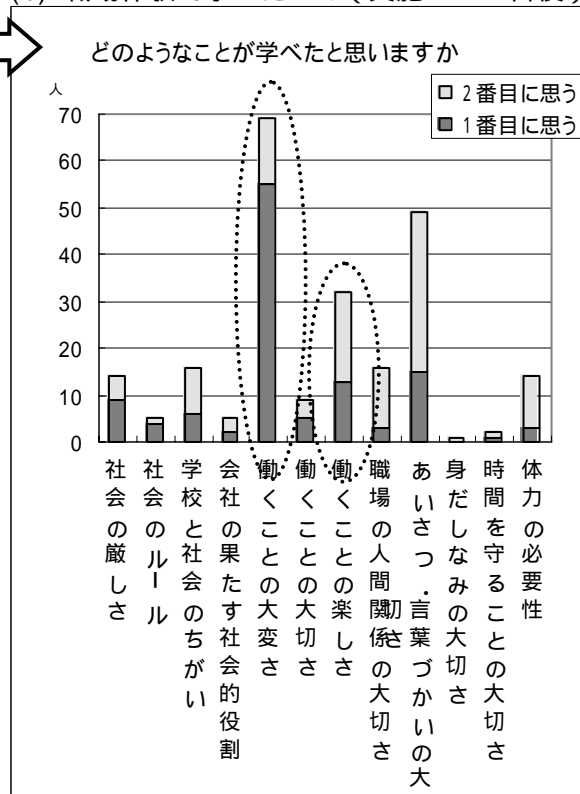
ア 調査方法 職場体験で学べること、学べたことについて、選択肢より二つを選択する方法で行った。

イ 調査結果

(ア) 職場体験で学べること(実施直前)



(イ) 職場体験で学べたこと(実施1~2日後)



ウ 考察

職場体験実施前は、「社会の厳しさ」等が学べると漠然と思っていた生徒であるが、3日間の職場体

験を通して、働くこと自体について考えることができた。「働くことの大変さ」を選んだ生徒が実施前53名(46%)から69名(59%)と増えた。さらに、「働くことの楽しさ」を感じた生徒が11名(9%)から32名(28%)と増えたことから、働くことの厳しさとともに、働くことの喜び、やりがい、仕事の成就感や自己有用感を得ることができた。

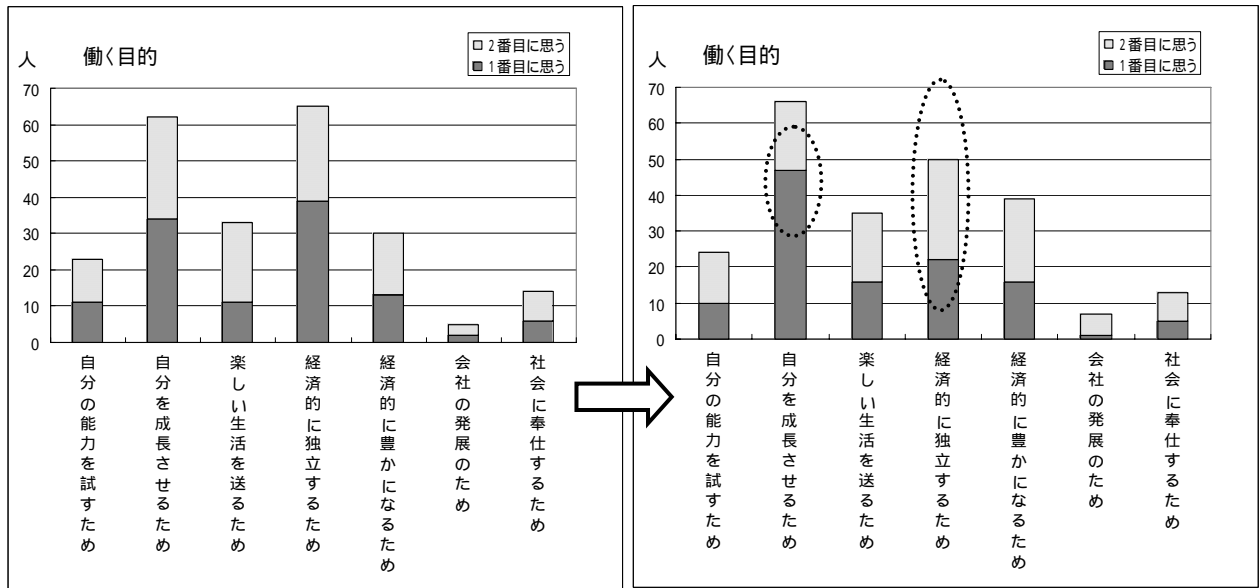
(2) 働く目的の意識の変化について

ア 調査方法 働く目的は何かについて選択肢より二つを選択する方法で行った。

イ 調査結果

(ア) 働く目的(実施直前)

(イ) 働く目的(実施1~2日後)



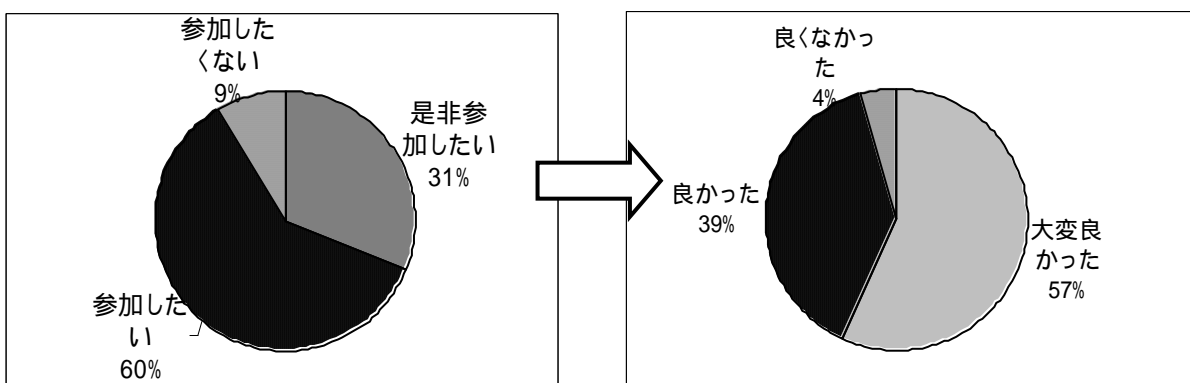
ウ 考察

事前の調査では、働く目的は「経済的に独立するため」という生徒が最も多く、63名(54%)であった。また、「経済的に独立するため」「経済的に豊かになるため」という収入面を1番目に考える生徒が52名(45%)いたが、実施後の調査では38名(33%)と減少した。反面、「自分を成長させるため」を1番目に答える生徒は34名(29%)から47名(41%)へ増加し、2番目に思うを選択した生徒も含めると66名(57%)となり、最も多い。働く目的は、収入・報酬を得て生計を維持するためだけでなく、自らを成長させるためでもあることを知ることができた。

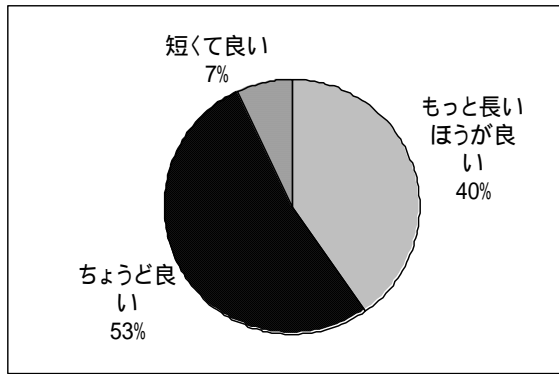
(3) その他

その他の調査結果からも職場体験が生徒にとって有意義であったことが分かる。

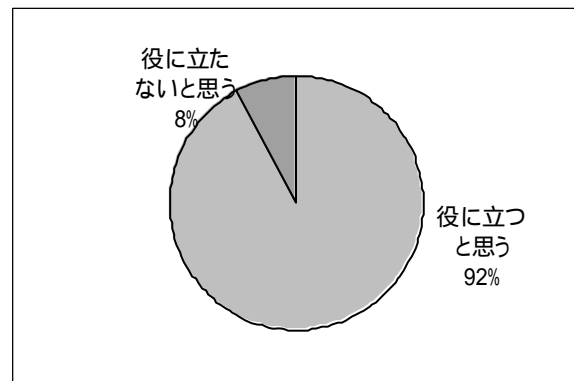
ア 体験入社に参加したいですか(実施直前) イ 体験入社はどうでしたか(実施1~2日後)



ウ 体験入社の日数はどうですか



エ 体験入社は進路選択に役に立つと思うか



5 成果と課題

(1) 成果

ア 職場体験3日間の成果

職場体験は、「勤労観、職業観を育む学習プログラム」のすべての領域の能力を身に付けることができ、勤労観、職業観を育成できる。

販売という職種の体験を通して、自己の職業的な能力・適性を理解する【人間関係形成能力(自他の理解能力)】。また、仕事を任せ一人前として扱われることで、自己有用感を感じ、仕事のやりがいを実感できる。

店長という管理職、ブラザー・シスターという上司に対するコミュニケーション、お客様を相手にして販売実績を上げるためのコミュニケーション等の場に応じたコミュニケーションをとることの必要性を実感し、実践できるようになる【人間関係形成能力(コミュニケーション能力)】。また、組織として確立されている職場であるため、社会規範やマナー等の必要性を、店長やブラザー・シスターの言動により直接学び、習得することができる【情報活用能力(職業理解能力)】。店長やブラザー・シスターという職業人としてのプロの話を、毎日の講話や一対一の個別指導の中で直接聞くことで、仕事に対する姿勢や意識を学ぶことができる。

大規模小売店での実習であるため、企業の社会的責任、利益を上げるための様々な工夫等の実社会の経済活動の仕組みを現実的に理解する【情報活用能力(情報収集・探索能力)】。

毎日、反省会を実施するため、生徒は問題意識をもちながら自己の役割を積極的に行わなければならない。生徒には負担になることであるが、反省会で勤労観、職業観の甘さを指摘されることで仕事の厳しさを実感する。半面、はっきりと的確な意見を述べられたときの充実感は忘れられない経験となる。

3日間の体験により、今後の進路選択がより身近で現実的なものであることを実感し、今後の高校生活において進路実現のために取り組むべき課題が明確になる。

イ (株)ヨシヅヤ1社で実施する職場体験の成果

(株)ヨシヅヤは大規模小売店として地元で密着し発展している。企業の社会的責任、経営の合理化、コスト削減、集客のため工夫等を3日間の職場体験で体験し、社会の仕組みや経済社会の構造とその働きを具体的・現実的に理解することができる。特に、(株)ヨシヅヤは日ごろから生徒が客という立場(消費者側)でよく利用している身近なショッピングセンターであるため、同じ場所を店員(経営者側)という立場で体験することで、より具体的・現実的な理解が深まる。

生徒一人に対して一人の指導者を付け、直接、丁寧な指導があり、指導者は(株)ヨシヅヤというブラ

ンドを販売する職業人としてのプロフェッショナルである。その仕事ぶりから、仕事に対する姿勢や意識を学ぶことができる。

学校側からは、前述のとおり、しっかりした指導者の下、キャリア教育の効果も上がり、安心して生徒を職場体験に行かせることができる。配属される売場は異なるが、体験内容がほぼ同じであり、体験内容が把握できる。同様に、事前指導等も1社のみのため一律に実施でき、指導内容が浸透しやすく、システムとしての職場体験が実施しやすい。店舗数が少ないため、集合点呼、巡回指導等の教員の負担も軽減される。

生徒は一人で職場体験に行くのではないので心強く、他の職場の仕事内容も生徒同士の情報交換で理解できる。しかし売場は異なるため、実習は一人で行い、職場体験としての教育効果は十分に得られる。

(2) 問題点，課題

ア 準備期間中の問題点，課題

事前指導の時間が少ないため、簡潔かつ効果的な指導が必要である。ただし、職場体験が学校行事として定着しているため、入学時より様々な場面で意識付けができる。

2年商業科全員を職場体験に参加させるためには、生徒全員が明るく、元気で素直であること、礼儀正しいこと、責任感のあることが最低限必要となる。生徒指導部をはじめとして教員全員の指導により、職場体験が実施できている。この体制を継続し、生徒指導をきめ細かく行うことが商業科全員の職場体験を実施するための前提条件である。

イ 職場体験実施中の問題点，課題

学校生活と違い休憩時間が少なく、立ち作業が長く続き、精神的・肉体的な疲労が大きい。2日目以降、疲れと慣れによる気持ちのゆるみが出てきて、遅刻者が出るなどがある。生徒の状況を把握するためにも、朝の点呼時や帰りに生徒一人一人に声を掛けるなどしている。

ウ 事後指導の問題点，課題

記録用紙をまとめ、提出することで事後指導としており、進路計画の見直し等を行うための時間を設けていない。この時期は、進学希望者の多い本校商業科では最も大切な検定試験である日商簿記検定2級受験直前である。生徒の意識を職場体験から次の目標に切り替えることも重要であるため、事後指導に時間を使わず、キャリア教育を考えた場合の事後指導不足を感じる。

エ 一社一職種での職場体験についての問題点，課題

全員が販売職での実習であるため、事務職・技能職等を希望している生徒の進路希望とは一致していない。勤労観、職業観の育成には成果があるが、勤労観、職業観をはぐくむ育む学習プログラムにおける高等学校段階の「進路の現実吟味と試行的参加」という目標を達成することはできない。しかし、生徒の希望職種での実習が可能な受入企業を確保することは難しく、また、その受入企業においてヨシツヤ体験入社と同等の教育効果を得ることは難しいと考える。

巻末資料 1 キャリア教育に関するアンケート

(1) キャリア教育担当者用アンケート

キャリア教育に関するアンケート

愛知県総合教育センター

Q1～Q10の質問ごとに当てはまるものを選び、その番号を で囲んでください。

Q1 学校の校種をお答えください。

- 1 小学校 2 中学校 3 高等学校（普通科） 4 高等学校（専門学科）
5 高等学校（総合学科） 6 高等学校（普通科・専門学科併設）

Q2 キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）を主に実施している学年を一つ選んでください。

- 1 小学校低学年 2 小学校中学年 3 小学校高学年 4 中学校第1学年 5 中学校第2学年
6 中学校第3学年 7 高校第1学年 8 高校第2学年 9 高校第3学年 10 実施していない

Q3～Q10 勤労観，職業観を育てる教育に関する行事（取組）の実施についてお答えください。

- Q3 進路適性検査や職業適性検査 1 実施している 2 実施していない
Q4 職場見学や企業見学 1 実施している 2 実施していない
Q5 就業体験（インターンシップ）や職場
体験 1 実施している 2 実施していない
Q6 上級学校見学や上級学校体験入学 1 実施している 2 実施していない
Q7 外部講師による講話 1 実施している 2 実施していない
Q8 職業調べ学習 1 実施している 2 実施していない
Q9 福祉体験やボランティア活動 1 実施している 2 実施していない
Q10 上記以外の行事（取組） 1 実施している 2 実施していない

*実施の場合，行事を（ ）内に記入（ ）

Q11 職場体験の受入先の開拓をどこに協力してもらっていますか。（複数回答可）

- 1 保護者 2 教職員 3 教育委員会 4 地域住民 5 PTA役員・委員
6 商工会議所 7 その他 8 職場体験を実施していない

本アンケートについて，お気付きの点や御意見等がございましたらお書きください。

御協力ありがとうございました

(2) 教員用アンケート

キャリア教育に関するアンケート

愛知県総合教育センター

アンケートのお願い

このアンケートは、先生方の御意見をうかがうためのものです。貴校及び先生個人に御迷惑をお掛けすることは決してありません。先生のありのままのお考え、御意見をお聞かせくださるようお願い申し上げます。

(回答の仕方)

それぞれの質問に当てはまるものを一つだけ選び、その番号をアンケート回答カードに記入してください。

「キャリア教育」は、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」、端的には、「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」と定義されています。
(「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」より 文部科学省、平成16年1月)

先生御自身についてお聞きします。

Q1 あなたが現在勤務する学校の校種は

- 1 小学校 2 中学校 3 高等学校(普通科) 4 高等学校(専門学科) 5 高等学校(総合学科)
6 高等学校(普通科・専門学科併設)

Q2 あなたの学校での担当は

- 1 担任 2 副担任 3 養護教諭 4 主任(兼務を含む) 5 管理職 6 その他

Q3 あなたが主に担当する教科は

- 1 国語 2 算数・数学 3 社会(地歴・公民) 4 理科 5 外国語
6 芸術 7 保健体育 8 技術・家庭(家庭) 9 専門教科 10 その他

Q4 あなたの年齢は

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代 5 60歳以上

キャリア教育(勤労観、職業観を育てる教育)に対する意識についてお聞きします。

Q5 ニート(若年層無業者)やフリーター(自発的離職者)が年々増加している現状をどう思いますか。

- 1 問題でない 2 どちらかと言えば問題でない 3 どちらかと言えば問題である 4 問題である

Q6 勤労観・職業観などの点で、若者の職業人としての基礎的な資質が低下してきていると思いますか。

- 1 低下していない 2 あまり低下していない
3 少し低下している 4 低下している

Q7 キャリア教育は、どの段階から実施すべきだと思いますか。

- 1 小学校入学以前から 2 小学校から 3 中学校から 4 高等学校から 5 大学から
6 大学卒業以降から

Q8 キャリア教育の実施に当たり、小学校・中学校・高等学校の系統的な連携が必要であると思いますか。

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q9 教員の社会勤労体験やキャリア教育に関する研修は必要であると思いますか。

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）の取組についてお聞きします。

Q10～Q16 キャリア教育に関する次の各行事（取組）について、下の1～4の中から当てはまる番号をそれぞれ一つ選んでください。

Q10 進路適性検査や職業適性検査

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q11 職場見学や企業見学

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q12 就業体験（インターンシップ）や職場体験

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q13 上級学校見学や上級学校体験入学

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q14 外部講師による講話

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q15 職業調べ学習

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q16 福祉体験やボランティア活動

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

Q17～Q23 勤労観や職業観を育成するための各取組について、下の1～4の中から当てはまる番号をそれぞれ一つ選んでください。

Q17 各教科における取組の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q18 道徳の授業の中で（小・中学校の先生方のみ回答し、高校の先生方は空欄にしてください）

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q19 総合的な学習の時間の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q20 学級活動（L T）の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q21 学校行事の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q22 部活動の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q23 委員会活動の中で

- 1 既に取り組んでいる 2 計画してみたい 3 計画はあるが、消極的である 4 計画していない

Q24～Q25 キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）を実施する上での課題は何ですか。下の1～9の中から当てはまる番号をそれぞれ一つ選んでください。

Q24 1番目の課題として考えられること

Q25 2番目の課題として考えられること

- 1 時間の確保 2 指導担当教員の確保 3 予算の確保 4 受入企業や事業所の確保
5 プログラムの開発 6 キャリア教育に関する専門的な知識の充足 7 教員間の共通理解
8 小・中・高での体験学習内容の重なるの解消 9 その他

Q26～Q27 キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）について率直に思うことを，下の1～8の中から当てはまる番号をそれぞれ一つ選んでください。

Q26 1番目に強く思うこと

Q27 2番目に強く思うこと

- 1 児童生徒にとって有意義である 2 望ましい進路指導が実現できそうな期待感がある
3 提唱されている内容が分かりにくい 4 学校現場に浸透するかどうか未知数である
5 教員が果たすべき役割が分からない 6 進路指導とキャリア教育の違いが分かりにくい
7 一時的な流行で、いずれ忘れ去られる 8 その他

キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）の今後についてお聞きします。

Q28～Q35 キャリア教育において育成が期待される能力について率直に思うことを，下の1～5の中から当てはまる番号をそれぞれ一つ選んでください。

Q28【自他の理解能力】:

自己理解を深め，他者の多様な個性を理解し，互いに認め合うことを大切にして行動できる能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q29【コミュニケーション能力】:

様々な人々とコミュニケーションを図り，協力してものごとに取り組むことができる能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q30【情報収集・探索能力】:

進路や職業等に関する情報を収集し、必要な情報を自己の進路や生き方の選択に生かす能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q31【職業理解能力】:

学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解することができる能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q32【役割把握・認識能力】:

生活・仕事上の多様な役割の中で、自己の果たすべき役割について認識することができる能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q33【計画実行能力】:

将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q34【選択能力】:

自らの意志で、進路・職業に関してよりよい選択や決定を行うことができる能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q35【課題解決能力】:

希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定して積極的に取り組む能力。

- 1 期待できる 2 少し期待できる 3 あまり期待できない 4 期待できない 5 分からない

Q36 キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）が教科・科目の学習や主体的に学ぼうとする意欲の向上につながるとお思いますか。

- 1 思う 2 少し思う 3 あまり思わない 4 思わない

Q37 キャリア教育（勤労観，職業観を育てる教育）を今後一層進めていくことは必要だと思えますか。

- 1 必要である 2 どちらかと言えば必要である 3 どちらかと言えば必要でない 4 必要でない

御協力ありがとうございました

巻末資料2 参考資料

国・文部科学省関連

- ・中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」(第6章)平成11年12月
(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/001.htm)
- ・中央教育審議会答申「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について」平成14年7月
(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/gijiroku/001/020702a.htm)
- ・国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について(調査研究報告書)」(本文・概要)平成14年11月
(<http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/sinro/sinro.htm>)
- ・文部科学省他「若者自立・挑戦プラン」平成15年6月
(<http://www.keizai-shimon.go.jp/minutes/2003/0612/item3-2.pdf>)
- ・文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」平成16年1月
(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/023/toushin/04012801.htm)
- ・文部科学省他「若者の自立・挑戦のためのアクションプラン」平成16年12月
(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/021.htm)
- ・文部科学省『リーフレット「キャリア教育の推進に向けて - 児童生徒一人一人の勤労観, 職業観を育てるために - 』平成17年5月
(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05062401.htm)
- ・文部科学省他『「若者の自立・挑戦のためのアクションプラン」の強化』平成17年10月
(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/025.htm)
- ・文部科学省他「中学校職場体験ガイド」平成17年11月
(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/026.htm)
- ・経済産業省『社会人基礎力に関する研究会 - 「中間取りまとめ」 - 』平成18年2月
(<http://www.meti.go.jp/press/20060208001/shakaijinkisoryoku-honbun-set.pdf>)
- ・国立教育政策研究所『「キャリア教育」資料集 - 文部科学省・国立教育政策研究所 - 研究・報告書・手引編』平成18年3月
(<http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/siryousyu.pdf>)

愛知県

- ・愛知県産業教育審議会「新しい時代に対応したキャリア教育の在り方について」(答申)平成18年3月
(<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/kotogakko/sansin/87%20tousinn.pdf>)